

山川 (富士) 59-0316

# 会報

第141号  
(1999年10月)



関西ハーモニカ連盟

KANSAI Harmonica Association



関西ハーモニカ連盟  
会報 第141号(99年10月号)

発行部数 300 毎年4, 7, 10, 1月に発行(送付はそれぞれ前月中下旬)

関西ハーモニカ連盟 組織

理事長 仲村 真 〒545-0005 大阪市阿倍野区三好町2-6-10  
☎06 6624-5606 FAXも同じ

副理事長兼事務局長

田中 祥雄 〒610-1127 京都市西京区大原野上里鳥見町14-20  
☎075 331-1033 FAXも同じ

副理事長兼編集局長

吉村 則次 〒591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201  
☎0722 51-9398 FAXも同じ

事業部長 飛田 保雄 〒611-0031 宇治市広野町寺山17番地の79  
☎0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

研修部長 白鳥 達夫 〒577-0842 東大阪市大蓮東2-9-12  
☎06 6728-7951

技術部長 宇佐美 進 〒573-1155 枚方市招提南町2-7-15  
☎0720 57-2077 FAXも同じ

組織部長 大石 喜一郎 〒567-0074 茨木市新郡山2-31-35  
☎0726 41-2087 FAXも同じ

会計部長 後藤 貞男 〒596-0005 岸和田市春木旭町36-17  
☎0724 41-0552 FAXも同じ

常任顧問 酒井涼爾、吉森正隆、平口謙二、板村忠重

特別顧問 森本恵夫、齋藤寿孝、徳永延生、和谷泰扶

部長・局長を除く常任理事(五十音順)

新井善久、今井康郎、入江章次、上本 洋、岡村貞彦、織田太郎、楠 陽晃  
村上浩一、村田 潤、吉見 治、吉見 忠、渡辺 昇

会計監査 山村信彦

理事(五十音順)

青木聡、新井尚子、井上純一、梅田恒弘、梅本醇子、金川一、神戸栄一郎  
木谷悦子、久保田隆、小林由美子、田代敏胤、谷口昌子、筒井松太郎、寺村安雄  
中川敬一、中西康四郎、榎崎義男、西田幸司、西本豪介、畑婦美子、吹上晴彦  
藤本勇、保理江元子、松川義明、水井一雄、宮本一男、村上博昭、屋嘉比盛行  
和谷篤樹

入会のご案内

入会費1000円、年会費(1-12月)個人5000円、賛助会員(業者)10000円

ハーモニカが好きかたなら、吹くかた吹かないかた、聞くのが好きかたの  
かた、複音愛好のかた、クロマチック愛好のかた、ブルースハーブ愛好のかた、  
上手なかた下手なかた、上手になりたいかた、ニュースだけほしいかた、どなた  
でも入会できます。入会金と年会費をお近くの郵便局から次の指定振替口座に振  
り込みください。振込払込票の通信欄に「入会申込」と記入してください。  
会員名簿(氏名、住所、電話番号)は公表いたします。

郵便振替口座 00950-6-115527 加入者名 関西ハーモニカ連盟  
年度途中入会の方には、当年度(4月号~1月号)のバックナンバーを  
お送りします。入会に関するお問い合わせは、上記の組織部長へ。



## 関西ハーモニカ連盟 会報 99/10月号 目次

表紙	スイスのチューリッヒ・カルテット	編集局
裏表紙	ハーモニカだ!	編集局
ハーモニカ・カレンダー（行事の記録と今後の予定）		編集局 3
写真のページー佐秀会関西支部コンサート等ー		編集局 5
レターボックスー皆さんからのお便りー		編集局 7
第10回ハーモニカ祭り、いよいよ10/24 日曜日 大津で		事業部 10
伊丹市アイフォニックホールでハーモニカコンサート		編集局 11
<b>各団体、当連盟会員の活躍</b>		
F M西大和で関西Hポップスの青木さんがオンエア	大石 喜一郎	11
第1回南大阪ハーモニカ祭り 9/12に開催	吉村 則次	12
どうぞよろしく!!「淡海（おうみ）ハーモニカクラブ」	姉川 敏彦	13
徳永ハーモニカ教室の生徒発表会と2泊3日セミナー	吉村 則次	14
NHK神戸文化センターアンサンブル、神戸しあわせの村で	村上 浩一	14
集い来る 顔懐かしき この夕べ(第26回みんなのコンサート)	大石 喜一郎	15
もり・けんのハーモニカ教室	もり・けん	16
もり・けん神戸でチャリティコンサート	新聞記事	16
シグモンド・グロウヴン氏から「自筆の楽譜が届いた」	姉川 敏彦	17
とっておきの話 [13]		
三夜連続のハーモニカを聞いて	特別顧問 森本 恵夫	19
幅広い音域、多彩な技巧ー和谷泰扶演奏会ー	新聞記事	21
ハーモニカによる吉田正名曲集ー森本恵夫CDー	雑誌記事	21
森本恵夫、ハーモニカによる吉田正名曲集	編集局	22
模倣について==7月号の姉川敏彦氏の記事に関して==		
	福岡教育大学 名誉教授 徳永 至	34
ハーモニカ今昔	編集局	23
ー天皇陛下の御前でー		
ーハーモニカラスカルズの来日ー		
ーハーモニカ特賣もあったー		
網戸用押さえゴムをハーモニカに（便利ですよ）	吉村 則次	25
ボンキエリかボンキエルリか、作曲家と生年月日	白鳥達夫/吉村則次	26
アルコールにフィルムケース（便利ですよ）	吉村 則次	31
複音ハーモニカは水で洗える（ハーモニカ振興会の雑誌から）	編集局	31
新しいハーモニカCD等	吉村 則次	33
もののけ姫が教科書に	編集局	33
クロマチック・ハーモニカのメンテナンスと修理の講習会	吉村 則次	34
コンサート、コンサート		
あらいなおこ、和谷泰扶、木谷悦子	吉村 則次	35
懐かしい？ハーモニカ	新聞記事	36
徳永延生氏が有線放送でハーモニカ・レッスン	編集局	36
神社にハーモニカの音色、大和郡山薬園八幡神社	新聞記事	36
会員の異動のお知らせ	組織部長	37
中高年にハーモニカが静かなブーム（NIKKEI BUSINESSより）	安田 哲夫	37
池田輝樹編著合奏曲集	池田 輝樹	15
役に立った野ばら社の「日本のうた」	吉村 則次	38
ハーモニカにみるブームの起こり方（雑誌記事）	安田 哲夫	38
「ハーモニカとカヌー」	吉村 則次	38

### 同封物

10/24当連盟主催ハーモニカ祭りのプログラム  
 モリダイラ大阪支店主催クロマチックのメンテナンスと修理講習会チラシ



# ＝＝ハーモニカカレンダー＝＝

## 編 集 局

- 5/19 水 みんなのハーモニカコンサート 関西日ポップス友の会主催  
大阪府立文化情報センター 25人(組)が出演した。(別記事参照)
- 5/22 土 7:00pm あらい なおこ ハーモニカ Live スターダイナー大阪  
別記事及び写真参照
- 5/23 日 7:30pm あらい なおこ ハーモニカ Live スポットRAG京都
- 6/6 日 10:00~16:00 徳永教室発表会 18:00~徳永延生ライブ  
心斎橋 国際楽器社4階コンサートホール  
昼行われた教室生徒の発表会は、プログラム数55という大きなコンサートとなった。  
注目は、浜松から参加の中学三年の宮田薫さんだった。別記事及び写真参照
- 6/13 日 日本ハーモニカ芸術協会(佐秀会)関西支部連合会主催コンサート  
箕面市メイプルホール 写真参照
- 6/19 土 吉村則次 (社)子ども情報研究センター等が主催のカナダ、オンタリオ州  
インケア青少年日本交流ツアー(カナダの青少年15名)歓迎パーティで演奏(共演は  
アコーディオンの堀部隆次氏)中央区谷町社会福祉会館
- 6/20 日 14:00 和谷泰扶 リサイタル びわ湖ホール 別記事参照
- 6/25 金 18:30 木谷悦子 ジャズ・ポピュラーの世界 ゲスト徳永延生  
大東市立総合文化センター(サーティホール)。別記事参照
- 7/3 土 2:00pm 和谷泰扶、びっくり!!スーパーコンサートII 別記事参照
- 7/3 土 木谷悦子 クロマチックハーモニカの世界 泉佐野 泉の森ホール
- 7/5 月 常任理事会 99/3/24の伊丹市アイフォニックホールでのコンサートの計画、  
2000年の西日本ハーモニカコンテスト開催の計画を決議した。
- 7/24 土 あらいなおこ 丹後あじわいの郷で演奏
- 7/25 日 10:00am~7:00pm 和谷泰扶セミナー、モリダイラ楽器大阪支店にて  
初級、中級、上級合わせて19名の参加があった模様
- 7/31 土 6:00~8:00pm 研修会 福田診療所 参加者13名
- 7/31~8/1 松田幸一 地球元気村和歌山県大塔村にて 教室とライブ
- 8/3 火 9pm 和谷泰扶、テレビ朝日「人気者で行こう」に出演  
70万円のシルバーコンチェルトと1万円以下のクロメックで同じ曲を陰で演奏し、ゲ  
ストにどちらの楽器で演奏したものが当てさせるものであった。回答は間違いが多く、  
演奏の違いは、楽器よりも演奏者であるということが分かった。
- 8/4 水 あらいなおこ 元気な子どもたちに贈る夏休みイキイキコンサート  
「19センチのマジック」京都市北文化会館 主催 京都音楽センター
- 8/5 木 あらいなおこ 上に同じ 滋賀県立県民交流センター内 ピアザホール
- 8/9 月 ハーモニカ祭り実行委員会 プログラム作成
- 8/14 土 6:00~8:00pm 研修会 福田診療所
- 8/21 土 10:00am~7:00pm 和谷泰扶セミナー、京都JEUZIA三条本店
- 8/22 日 12:30 エコーズ・グリーン六甲合同発表会 西宮市甲東ホール 出演数41
- 9/3 金 2pm 和谷泰扶リサイタル 大阪梅田新道 フェニクスホール
- 9/5 日 11am~11:45am NHK衛星放送ハイビジョンCh9  
「このすばらしきモノたち・ハーモニカ」45分。われわれが知っている人が多く出た。
- 9/5 日 松田幸一 ライブハウス京都「都雅都雅」
- 9/11 土 11am 京都エンゼル合奏団発表会  
京都市中京区寺町通り 旭屋楽器店サンホール 問、小林0798-22-1844

9/12 日 南大阪ハーモニカ祭り 堺市サンスクエアB棟地下1階「ギャラリー」  
別記事に記載のとおり、96名の出演があった。詳細次号

### これからの予定

- 9/15 祭・水 松田幸一 神戸国際会館 ポートジュビリーアゲイン  
谷村新司等とのフォーク・コンサート 問 078-251-9526 ユニオンプランニング
- 9/20 月 常任理事会
- 9/22 水 6:00~8:00pm 研修会 福田診療所
- 9/23 (祭)~25 (土) 徳永延生教室、ハーモニカセミナー  
奈良県下北山村スポーツセンター
- 9/25 土 3:00pm 7:00pm 吉森 正隆、大阪音楽大学音楽研究所  
ちんどん・オペラ・流行歌・・・再現演奏会「大正デモクラシー」  
大阪、道頓堀「中座」 2500円
- 9/29 水 14:30及び19:00 もり・けん 秋の童謡・抒情歌 ハーモニカコンサート  
千里中央A&Hホール 1800円(前売り1500円) 問、ホール 06-6873-2607
- 10/24 日 当連盟ハーモニカ祭り 大津市 大津市民会館  
520-0042 大津市島の関14-1 電話 077-525-1234 FAX 077-525-1788  
JR大津駅下車徒歩10分 同封プログラム参照
- 10/30 日 クロマチック・ハーモニカのメンテナンスと修理、講習会 講師 吉村則次  
主催モリダイラ楽器、同社大阪支店にて、同封チラシ参照
- 11/13 土 関西ハーモニカポップス合奏団 定期演奏会 朝日生命ホール
- 11/23 祭 宇治ハーモニカコンサート 台湾、黄石口琴合奏団来日
- 12/13 月 会報2000/1月号発行、定時総会招集、年会費請求

### 2000年の予定

- 2000/1/15 定時総会及び懇親会(予定)
- 2000/2 日にち未定 平日の昼 吉村則次、千里中央ランチタイムコンサート  
よみうり文化センターロビー、主催 豊中市立千里公民館
- 2000/3/24 金 伊丹市主催 ハーモニカコンサート 伊丹市立アイフォニックホール
- 2000/9/7~10 国際ハーモニカフェスティバル (IHO主催)  
イギリスのロンドンから約150キロ南のボネムス(Bournemouth)のインターナショナル・  
センターにて開催、コンテストが含まれています。
- 2000/10/7~9 アジア太平洋ハーモニカフェスティバル 韓国ソウルにて

#### 宇治ハーモニカスクール 創立10周年記念コンサート

日 時 平成11年11月23日 12時30分より(12時開場)  
場 所 宇治市立生涯学習センター(宇治市宇治琵琶、宇治市役所内)  
主 催 宇治ハーモニカスクール  
出 演 宇治ハーモニカスクール会員  
ゲスト出演 台湾トリオ他  
入場無料 問い合わせ、0774-41-6568 飛田保雄



日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会  
 第13回ハーモニカコンサート  
 99/6/13 箕面市メイプルホール



高槻ハーモニカクラブ



森本 恵夫 氏



関西ハーモニカポップス合奏団



刀根山ハーモニカ愛好会



クライン・ヴァルトゥ・カルテット



お揃いの帽子で初出場の堺ソフィアHアンサンブル



NHK神戸文化センター  
ハーモニカアンサンブル  
99/4/25神戸しあわせの村



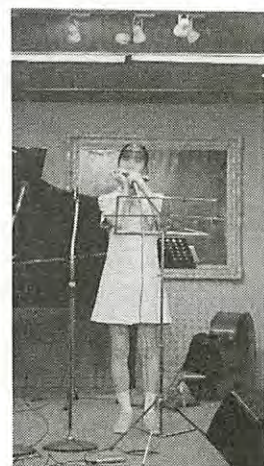
あらいなおこライブ  
99/5/22大阪スターダイナース



奈良県平城京公民館ハーモニカ教室  
99/6/6 大和郡山市薬園八幡神社参集殿にて



徳永H教室発表会  
99/6/6大阪国際楽器社ホール



浜松から参加の  
宮田薫さん ↗  
徳永H教室発表会



## レターボックス

—会員等からのお便り—

99-6-21

会報（7月号）、拝受、お心くばり有がとうございました。  
毎号の事ながら編集内容の濃い充実し、読む人を楽しませてくださいます。  
活動内容が手に取るようにわかります。（以下略）

匿名様（会員以外の贈呈先）

99-6-21

会報（7月号）ありがとうございました  
皆様の活躍の様子が手にとるように判ります。でもご苦労様です。ヴァイタリティーが  
漲って心強く感じます。（中略）  
ハーモニカをやる人は、皆若々しくて元気ですね。何かそうなる理由があると思います。  
生理的、心理的理由がきっとあります。  
本格的な梅雨に入ります。くれぐれもご自愛の程を願います。

匿名様（会員以外の贈呈先）

99-6-22

（前略）会報紙面で、ハーモニカにかかわるあれこれ、「ハーモニカ、ハーモニカ」頭が  
下がります。  
ハーモニカ、ほんの駆け出しの私、いろいろ勉強させて頂いております。  
地方の一会員として、会報は、私にとってニュースであり、勉強の場でもあります。

匿名様（会員）

99-7-12

会報前号で、「クロマチック・ハーモニカをもっとよく鳴るように」の小冊子（A4判  
で38ページとなりました）を案内したところ、会員外のかたも含め12人のかたから、注  
文がありました。お役に立てたことを非常にうれしく思います。

このようなことは、本にも書かれておらず、教えてくれる指導者もおらず、販売店も教  
えてくれない、ということで非常に要望が強いということを感じました。

販売店のかたが、なにも知らないというのが問題ですが、ハーモニカの現状から見て、  
やむを得ないことかも知れません。

これに関する各位のご意見もお願いしたいと思います。

今後もお役に立てるようなことは、どんどん提供し、ハーモニカの普及発展に努力した  
いと思います。修理、改造だけでなく、音の出し方等も含め、ある程度纏まったら、本の  
形式にして提供したいと思っております。

なお、さらに記事を加え、従来のものには改訂を加えましたので、本日現在A4判で44  
ページとなりました。とりあえずは、ハーモニカのハードの面に絞っておりますが、今後は  
ソフト（吹き方、練習の方法等）の面にも拡大して行きますので、さらにページ数が増  
えるものと思っておりますので、今後の注文はコピー代と郵送費で1000円とさせていただきます  
としますので、ご了承ください。

なお、別ページに掲載のとおり、10/31日曜日、モリダイラ楽器大阪支店がクロマチック  
・ハーモニカのメンテナンスと修理の講習会を開催していただけるとのことです。講師  
は私です。印刷物で読むよりはるかに分かりやすいと思っておりますので、お出てください。

591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201

吉村 則次 電話及びFAX 0722 51-9398

99-6-30

ボディとカバーの装着が原因



私が使用している高級クロマチック・ハーモニカが不調で悩んでいましたが、原因の一部がわかり、調整が済み、一安心です。

それは、ボディとカバーの装着がピッタリしなかったためです。ヤスリであたりをなくしてOKとなりました。

受注生産で経験豊富な職人が手掛けていると思い、信じていましたが、時には疑ってかかることも大事なことを知りました。ほんのわずかなことが、音量・音質に影響することを再認識しました。

匿名様 (会員)

99-7-9

「くまんばちの飛行」の録音物ありますか  
数字譜を五線譜に直す方法を教えてください

ラリー・アドラー?が「くまんばちの飛行」をハーモニカで奏していると聞き、録音物を探してきましたが、未だに見つかりません。私の聞き違いかも知れませんがLP、CD等ありましたら教えてください。(注、ご存じでしたら編集局長までお願いします。ラリー・アドラーでなくても結構。編集局長は捜し出せませんでした。)

数字譜を五線譜にする方法を教えてください。転調しない数字譜はわかります。転調するとき、ハーモニカを持ち替えるとき、の数字譜を五線譜に移すときの音の位置を教えてください。(例として、バルセンチーノ(岩崎重昭)、リラのタンゴ、エチュード(佐藤秀廊)の数字譜が同封されてきました)。(この件について説明されている出版物がありましたら教えてください〜編集局長)

匿名様 (会員外)

我々のハーモニカの世界では、この逆の質問(五線譜から数字譜への方法)は多いのですが、数字譜から五線譜への方法も知りたいという人がおられるのを聞いてうれしく思います。佐藤秀廊や岩崎重昭の編曲に感動し、他の楽器で演奏したいというかたのようです。

吉村 則次

### 五線譜を数字譜に、数字譜を五線譜に

数字譜を使っているハーモニカ奏者のための楽譜の解説の小冊子をお送りします。8ページのもので、移調する場合のスケール(厚紙に貼って使用するものさし)付きです。コピー代実費と郵送料、封筒代で300円を切手でお送りください。

591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201

吉村 則次

99-7-17

### 音楽好きの物知り辞典

---歌と歴史の雑記帳---

明治・大正・昭和のことなら、あなたは何時も話題のリード役

10月ごろ発売予定 1800円

吉森 正隆

99-8-4

### アンサンブルセミナーを4回も開催

九州H連盟では、次のとおりコード、バス、クロマチック、メンテの小部会が開催されます。7/25のコード部会では27名が出席し、初級と中級に分かれて熱心に研究されました。27本のコードが同時に鳴るといことは・・・すごいことでした。



コードセミナー 7/25

バスセミナー 9月

調律講習会 10月

クロマチックセミナー 11月

いずれも大野城まどかびあにて、参加費1000円

安田 哲夫 (会員、福岡市、九州連盟の会員でもある)

99-8-4

### 姉川敏彦活動予定

- |      |                    |                |
|------|--------------------|----------------|
| 7/9  | ハーモニカの旅・おしゃべりコンサート | 甲賀郡水口町伴谷幼稚園    |
| 7/16 | 心とときめき・人が輝く社会      | 甲賀郡甲賀町油日小学校PTA |
| 8/1  | 園歌発表・たそがれコンサート     | 長浜市立六荘幼稚園      |
| 11/7 | 敬老のつどい             | 甲賀郡甲賀町滝公民館     |
| 12/5 | 淡海ハーモニカクラブ         | 天津市生涯学習センター    |

姉川敏彦

### 浜松の楽器博物館に行ってきた ハーモニカがない！

昨年3月の、当連盟主催の浜松スズキハーモニカ工場見学懇親1泊旅行では、予定に入っていた浜松市立楽器博物館の見学が、入口まで行ったにもかかわらず、臨時休館により実施できませんでした。

それ以来、機会を見てぜひ念願を果たしたいと思っておりましたが、8月1日偶然にも浜松に途中下車することができ、同博物館を見学して来ました。

浜松駅前のビルの1階と地階の2フロアにわたり、収集した楽器が展示されていました。

いろいろ珍しいもの、古いものがありましたが、チェンバロやピアノのようなキーボード楽器が大きなスペースを占めていました。それぞれの楽器の音がヘッドホンで聞けるようになっていました。またキーボード楽器は、音が鳴る透明な模型も置かれて、興味がありました。

さて、私の目的であるハーモニカは、残念ながらプラスチックケースに入ったものが1個あったのみで、それもなにか分からないようなものでした。アコーディオンのようなフリーリード楽器も非常に少なく、展示品から博物館自身及びそのスポンサーの力の入れ具合が伺われました。他の楽器に比べ、歴史も短いので、ハーモニカは博物館の意欲的な収集対象品にはなっていないものと思いました。

楽器の中心地であり、スズキの本拠地でもある浜松ですから、その気になって集めようとしたら、100個ぐらいはすぐに集まるだろうに、と残念です。

楽器の博物館なら、ドイツのミュンヘンの市立博物館が有名で、一昨年97年にトロシングンの世界大会に行く前に訪れたときに行きましたが、圧巻でした。しかし、ここでもハーモニカはほころが被ったものが10個ぐらいでした。(同博物館は、楽器とともに人形のコレクションで非常に有名です。行かれたらぜひ行ってください。)

また、アジアの楽器なら、ご当地、大阪の国立民族博物館(千里の万博記念公園内)にも相当あったと思います。

ハーモニカのコレクションでしたら、なんといってもドイツのホーナーの本拠地、トロシングンのハーモニカ博物館が世界ただ一つ(ほかにはない)の専門博物館で、3階にわたりハーモニカとアコーディオンばかりが展示されています。モリダイヤに予約してもらって一生に一度は行っていただきたいところです。

浜松市立楽器博物館 月曜日休館、入場料400円

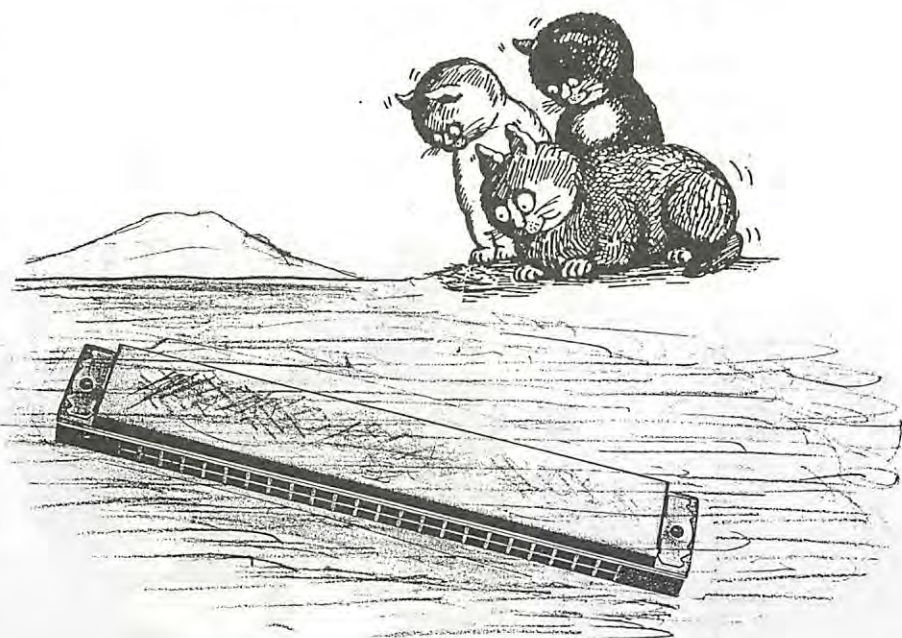
吉村 則次



関西ハーモニカ連盟主催

## 第10回ハーモニカ祭り

演奏者数86組 延べ演奏人数472名



**オジヨイメイ・トリオも参加!**

**日 時** 99/10/24 日 12:00 開場11:30

**場 所** 大津市民会館 大ホール

520-0042 大津市島の関14-1

077-525-1234 FAX 077-525-1788

最寄駅 JR大津 歩10、京阪浜大津 歩7、京阪島の関 歩3

**主 催** 関西ハーモニカ連盟

問合せ 事業部長 飛田保雄 0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

詳細は、同封プログラムをご覧ください。



## 伊丹市アイフォニック・ホールで ハーモニカコンサート

事業部長

日時 2000年3月24日 金曜日 午後6:00  
場所 伊丹アイフォニック・ホール 500席  
阪急伊丹から歩5分、JR伊丹から歩10分  
主催 伊丹市+伊丹市クラフト協会  
共催 関西ハーモニカ連盟  
入場料 無料  
演奏者 今後常任理事会等で最終決定されます。

このコンサートは、既報の99/5/9の伊丹市立工芸センターでの同センター主催のハーモニカコンサート(吉村則次、西田幸司、ハーモニクス大阪が出演)がきっかけになって、もっと大規模なものとして開催されるもので、費用はすべて主催者(伊丹市等)により負担されます。伊丹市で、ますますハーモニカが普及発展することが期待されます。



### 7/24 開局のFM西大和で KHPの青木さんが オン エア

奈良県内初の地域コミュニティラジオ放送局「FM西大和」が、7/24 から本放送を開始しました(81.4MHz)。地域住民の出資で設立され、原則的に24時間の放送で、生活情報や白鳳女子短大生によるキャンパスDJを流している。電波の届く範囲は、奈良盆地の80%程度で主として北葛城郡や生駒郡が対象ということですが、大阪府の南東部でも聞こえるそうです。

この生まれたての放送局から、関西ハーモニカポップス合奏団の青木氏(当連盟 理事)がハーモニカの生演奏をオンエアしました(8/7)。たくさんの方々に「帰れソレントへ」や「夏のおもいで」などの独奏や昨年のKHP定期演奏会から「旅情」「夜霧のしのび逢い」をお送りしました。またトークの中ではハーモニカの説明だけでなく、今年のKHP定演(11/13)のお知らせや連盟の「関西ハーモニカ祭り」(10/24 大津市)のPRもしっかり組み込まれていました。



## 第1回南大阪ハーモニカ祭り



出演者延べ97名で開催

吉村 則次

堺市を中心に、ハーモニカ教室及びグループが多く開設され、愛好者が急激に増加して来ましたので、大阪市の南部（天王寺より南）と大和川以南の大阪府内在住愛好者を対象として、「第1回南大阪ハーモニカ祭り」を次のとおり開催しました。

99/9/12（日）13:30～16:30

堺市、サンスクエア堺B棟地下1階「ギャラリー」

出演者は、次のとおり全員合奏を含め36件でした。

グループ7組

堺西老人センターハーモニカクラブ24名

堺ソフィア・ハーモニカ・アンサンブル5名

住吉オールドハーモニカクラブ15名

ヤングタウンハーモニカクラブ17名

堺総合福祉会館ハーモニカクラブ9名

堺東老人センターハーモニカクラブ14名

堺市金岡公民館ハーモニカ教室8名

ソロ 榎崎義男、吉村則次ほか24名

ゲスト 仲村眞理事長、吉森正隆氏、西田幸司氏

詳細及び写真は、本誌に間に合いませんので、次号で報告します。



おみ  
どうぞよろしく!! 『淡海ハーモニカ・クラブ』

淡海ハーモニカ・クラブ

代表 姉川敏彦

近畿6府県の中で、我が滋賀県だけがハーモニカ・クラブが存在しないという不名誉なことがずっと続いていました。何とかクラブの誕生をと思い悩んでおりましたが、学校現場に勤務している間は身動きが取れずに悶々としておりました。

退職を機に、関西ハーモニカ連盟の皆様からの激励を受けてクラブを誕生させることにしました。平成10年8月誕生の若いクラブです。

大津市の広報で会員を募集したところ、「案ずるより産むが易し」の言葉通りに一度に34名の会員でスターとしました。練習会場の関係で30名が限度であるがとにかく34名で。

月2回の練習日を会員みんなが楽しみに集まり、毎回90%の出席率です。テキスト、楽譜等の資料は全て実態を見ての自作ですから、会員の希望・要望等100%取り入れたものです。

この夏で一年を迎えますが、ハンドサインを見ながら吹き始めた人・数字譜が読めなかった人などの個人差を乗り越えて、C・#Cのハーモニカをカッコよく吹いています。現在はベースを入れて吹いたり、2重奏アンサンブルでいろんなジャンルの曲に挑戦中です。

またまた今年、入会希望の市民の声を受けて、今年も会員を募集したところ「Aクラス」に新たに30名の会員を迎えました。昨年のクラスは「Bクラス」になり「淡海ハーモニカ・クラブ」は60数名という大世帯になりました。A・Bクラス時間差をつけての練習ですが、交流会・食事会等々を取り入れ、「心豊かに、しなやかに」を合い言葉にがんばっています。

いつの日にかコード・バスハーモニカを入れたアンサンブルにも発展させたいと大きな夢を描いています。

私たちのクラブ誕生を待っていてくれたように、今秋10月に『関西ハーモニカ連盟の「ハーモニカ祭り・大津大会」』とのこと、大いに楽しみにしております。

そして、「淡海ハーモニカ・クラブ」一同心から歓迎申し上げます。

近畿各府県ハーモニカ・クラブの皆さん、誕生間もない私たちをよろしくお導きください。



## 東京から、九州から、全国から --徳永ハーモニカ教室発表会--

吉村 則次

徳永延生氏が指導するクロマチック教室は、すべて個人レッスン方式で行われ、約50名のかたが登録して、月1～4回のレッスンを受けている。

ご存じのとおり同教室からは、97年世界大会のチャンピオンの木谷悦子、同2位の辻晋哉（いずれも当連盟会員）が生まれている。

同教室では、毎年2回6月と11月に生徒の発表会を開いている。今年春の発表会は、6月6日の日曜日、午前10時から午後4時まで、大阪市中央区心斎橋の国際楽器社4階ホールで行われた。（写真参照）

関西一流のピアノ、ベース、ドラムのバックによる生伴奏で、他の教室にはなかなか見られないものである。それもリハーサルの時間などは全くなく、一発勝負という緊張感のあるものである。

今回の出場者数は延べ51で、毎回のことではあるが、東京、浜松、名古屋、福岡からも参加があった。

毎回、若いかたがどんどん入って来られ、また上達が速いのはうれしいことで、今年は浜松から宮田薫さんという中学3年の女子のかたが演奏された。

教室発表会とはいえ、120席の会場がほぼ埋まるくらいの来場者がある。

夕方からは、毎回のことではあるが、徳永延生のライブがゲストを招いて、有料コンサートとして行われた。

また、同教室では年1回2泊3日の宿泊セミナーも行っている。今年のセミナーは、昨年に引き続き奈良県の下北山村のスポーツ公園で9月23日から25日まで開催される。今年のテーマは、「アドリブ超入門」である。バンドも同行し、演奏会も開かれる。

教室、ライブ、セミナー等の問い合わせは、徳永延生06-6934-7266へ



### N H K 神戸文化センター ハーモニカアンサンブル 神戸しあわせの村開村10周年記念 第9回ふれあいコンサート出演

村上 浩一

しあわせの村開村10周年の記念行事として(財)こうべ市民福祉振興協会主催のもとに、しあわせの村シルバーカレッジホールにおいて、11年4月25日日曜日13時から第9回ふれあいコンサートが開催されました。

N H K 神戸文化センターのハーモニカアンサンブルも14名のメンバーが出演、「カプリ島」と「バラが咲いた」を合奏した。

出演は、障害のある人やお年寄りや車椅子の方々、手話サークルの人も、歌ったり演奏したり、一緒に楽しいひとときを過ごしました。

丁度フォーク歌手の高石ともや氏とブルースハープの松田幸一氏も参加、見事な演奏にみんな酔いしれました。

盛会裡に16時閉会しました。（写真参照）



集い来る 顔懐かしき この夕べ 第26回 みんなのコンサートを終えて

'99/6 関西ハーモニカポップス友の会  
事務局 大石 喜一郎

「みんなのハーモニカコンサート」も回を重ねて第26回になりました。お陰様で今回も、満員の盛況でした。最近は、お客様の都合と出演者の都合を考えて、夏は夜間にそして冬は午後に公演時間を分けて開催していますので、今回は 18:00 開演となりましたが、17:00 過ぎには来場される方もあり開場準備が大変でした。今回の特徴は、25 プログラムの中に 4 曲の加ワツクの演奏があったことと尺八+ハモカというかなり珍しい組み合わせがあったことでしょう。出演申込みも多数いただき、会場の制限時間に合わせる事が困難になってきたほどでした。ハモカを練習していても発表する機会の少ない人のためのコンサートという性格から、申込みは原則的にすべて受け入れています、これからは一考を要する課題になってきました。またハーモニカ演奏方法の実験的発表の場という性格から「境界無し」という本当の意味での“アンデパンタツ”に徹してきましたが、プログラム変更の無秩序状態が見えてきたことも、反省すべき点であると考えています。

アンケートでは”ハーモニカを習いだしたばかり”という人の演奏技術への賛美の声や”普段見かけない 10 ホールズ”との出会いに新鮮な驚きを表わしたものの、”難度の高い曲へのチャレンジ”に若さを共感する人や”練達の複音ハーモニカの音色”に陶醉し感嘆する人など それぞれに満足いただいている姿が読みとれました。また楽器店さんの出張販売も好評で、ハーモニカや楽譜あるいは関連資料の情報入手の機会とされているとの声も寄せられました。

単に聴くだけにとどまらず、聴衆にとっては共感のあるまた演奏者にとっては何らかの収穫のある、そんなコンサートを目指したいと思っています。

次回は 12 月中旬の午後を予定しています。どうぞご期待ください。

以上

ハーモニカ合奏に役に立つ器楽合奏等の本

池田 輝樹 編著

書名	発行所	価格税込み
楽しい器楽合奏曲集	ドレミ楽譜出版社	¥2625
子どもの器楽指導曲集	東京音楽書院	2266
楽しいアニメ・ヒット曲集	ドレミ楽譜出版社	1545
やさしいこどもの器楽合奏(風の谷のナウシカ)	ドレミ楽譜出版社	2625
(天空の城ラピュタ)	同じ	同じ
(魔女の宅急便)	同じ	同じ
(となりのトトロ)	同じ	同じ
初心者のためのアコーディオン教本	ドレミ楽譜出版社	1854
ハーモニカ「毎日の練習」(手作り)	全日本総合音楽院	2500
全国幼児リード器楽合奏発表会ビデオ29~35回	全国幼児リード器楽合奏連盟各	4500
同カセットテープ25~28回	同	各2781



## もり・けんのハーモニカ教室等

ヤマハ音楽教室 毎月第1・3金曜日 (入会金4,000 月3,000)  
 ・箕面センター 10:00~11:00 シニアアンサンブル(ハーモニカも含む)  
 ・箕面センター 11:00~12:00 ハーモニカ  
 ・宝塚センター 13:05~14:15 ハーモニカ  
 ・逆瀬川センター 14:45~15:45 ハーモニカ  
 ・西宮北口センター 16:15~17:15 ハーモニカ  
 よみうり堺文化センター (入会金4,000 月4,000) 99/10より開講  
 毎月第2・4土曜日 10:30~11:30 ハーモニカ  
 朝日カルチャー千里センター (入会金4,000 月4,200) 2000/4より開講予定  
 毎月第1・3土曜日 13:30~14:30 ハーモニカ  
 朝日カルチャーセンター中之島 (6カ月全納22,900)  
 通信教育講座「詩集を作る」(スクーリングもあり)

問い合わせ先

ヤマハ音楽教室(新響楽器) 06-6412-5222  
 よみうり堺文化センター 0722-22-2030  
 朝日カルチャーセンター千里 06-6831-1608  
 朝日カルチャーセンター中之島 06-6222-5023

## コンサート情報

9/29(水) 14:30 及び 19:00

秋の童謡・抒情歌 もり・けんハーモニカコンサート  
 千里中央A&Hホール 1800円 06-6873-2607

ハーモニカ奏者のもり・けんさん

# 亮君の手術成功を

99-7-29 毎日

神戸でチャリティーコンサート

重度の心臓病を患い、心臓移植手術を受けるため渡米した砂川亮君(14)は神戸市垂水区への募金を呼びかけるため28日、作詞家でハーモニカ奏者のもり・けんさん(48)らが、神戸市西区曙町の新響楽器などで童謡・叙情歌のチャリティーコンサートを開いた。

砂川亮君は生後11か月で原因不明の熱性疾患「川崎病」を発病。今年2月には急性心筋炎とそこから重症の左心不全になり、補助人工心臓を付け治療を続けていた。今月15日に渡米し心臓移植を待っているが、米国内での移植手術は入院費用を含め莫大な金額がかかるため、募金を呼びかけている。

知人を通じて砂川君を知ったもりさんがチャリティーコンサートを企画。知人

で武庫川女子大音楽学部講師、田中聖子さん(42)らに呼びかけ、武庫川女子大音楽部の学生ら14人が集まった。

コンサートでは、もりさんがハーモニカで「我は海の子」や「カチューシャ」などを演奏。武庫川女子大音楽部の学生らが「ドレミの歌」などのコーラスを披露した。

もりさんは「砂川君にはぜひ頑張ってもらいたい。お客さんには童謡を楽しんでもらいながら命の大切さが分かってもらえたら」と話していた。

【井出 晋平】



## 松田幸一 テレビで 音楽担当

NHK-BS2「ふるさとの鉄道」  
 関西TV月曜夜9時ドラマ  
 「パーフェクト・ラブ」



## シグモンド・グローヴン氏から『自筆の楽譜が届いた』

姉川 敏彦

( 淡海ハーモニカクラブ )

大津市フィガロ・ホール、そして京都コンサートホールでのシグモンド・グローヴン氏の透明感のある音色が未だに耳に残っているのは、私一人ではないと思うのですが如何がでしょうか。

大津市で、彼とのデュオ実現以来すっかり舞い上がっている毎日で、彼のCDを聴かない日はないといっても過言ではありません。

そこで、思い切ってファンレターを出すことにし、毎日CDを聴いていることや、CDの演奏から楽譜を採譜していること。それから、透明感のある音色がどうしたら出るのか練習三昧の毎日を過ごしているので、今度お目にかかるときは『クローン・シグモンド姉川』になっているかも知れないことなど書きました。

彼が演奏した「タイタニック」の伴奏音源、「光に向かって」の楽譜等が何とか入手できないものか等々ちょっぴりおねだりもしました。

なんと一か月後に返事と共に楽譜が送られてきたのです。彼の優しいお人柄がしのばれます。(この間、彼は演奏旅行中でした。)

### シグモンド・グローヴン ⇨ 姉川

貴方の親切な手紙と大津・京都滞在中の私の写真をプレゼントしてくださって有り難うございます。また、私の演奏について貴方のお誉めの言葉を有り難うございます。貴方に逢えたこと本当に楽しかったです。それから、フィガロ・ホールで(貴方と)デュエットする機会がもてたこと、うれしく思います。

フィガロ・ホールは、私が演奏したりサイタルホールの中でも、最もすばらしいホールのうちの一つだと思います。(中略)

貴方が希望しておられる(私の作品の) ”MOTLYS” 『光に向かって』の楽譜を喜んで同封致します。楽しんで演奏して下さることを願っております。

それから、残念ながら「タイタニック」の伴奏は著作権の問題がありお送りすることはできません。お許してください。

貴方がハーモニカの演奏を楽しまれ、幸せな生活を送られることを祈っております。近いうちに、再び貴方に逢えることを楽しみにしております。大津・京都へいつでも行けたら幸せなのですが・・・。

Yours sincerely,

敬具



Sigmond Groven



(前段部分省略)

先日は、私の勝手な申し出をお聞き入れくださりまして、お手紙と共に貴方の作曲された『光に向かって』の自筆楽譜をお送りくださりまして本当に有り難うございました。

早速に今日から練習し始めました。貴方の演奏をしっかりと聴きながら、私の音楽を表現してみようと思います。そして、私のレパートリーの1曲になれば本当にうれしく幸せなことです。いつの日にかきくと聴いてくださいね。

誉めていただけるようにしっかりと練習します。

『光に向かって』の楽譜は、私の宝物として大切にします。

それから、『タイタニック』のことは著作権のこともあり仕方ありません。自分で編曲し、オリジナルサウンドも作ってみます。勝手なお願いをしたことをお許しください。

これからは、貴方の作品をどんどん演奏していきたいと思います。貴方の作曲された「作品集」の出版元が判ればこちらで輸入の手続きをして、求めたいと思います。お知らせくださればうれしいです。

(中段部分省略)

もう一度、大津へ来ていただける日を楽しみにしております。

遠い日本から、貴方の演奏活動が世界中に広がりますように祈っています。くれぐれもお体をお大事に・・・さようなら

『光に向かって』を練習中の  
姉川 敏彦

(会員の皆様)

※『シグモンド・グローヴン』の作曲集の版元が判れば、お知らせします。

※文中の『タイタニック (愛のテーマ)』の「シグモンド・グローヴン演奏採譜」が完成しました。ご希望の方は連絡ください。音源は作成中です。

♩ = ca. 72

P.O. Box 5167 Majorstua  
N-0502 OSLO, Norway  
Tel: (+47) 22 60 14 59  
Fax: (+47) 22 60 20 25

MOTLYS

Sigurd Groven

(Against the Light - Contrefour)

Tranquillo, espressivo

pp

p



### 三夜連続のハーモニカを聞いて

関西ハーモニカ連盟 特別顧問 森本 恵夫

★7月23日(日) AM2:00~3:00 NHK第1ラジオ深夜便 郷愁のサウンドハーモニカの調べ

★7月24日(月) PM7:00~9:00 和谷泰扶 万華鏡 東京千駄ヶ谷津田ホール

★7月25日(火) PM4:00~6:00 明日に向かって響けⅡ 小林史真 出演

東京オペラシティコンサートホール

— — — — — 〇 — — — — — 〇 — — — — —

このところハーモニカのコンサートが目立って増えている。嬉しい傾向だ。まず聞いてもらわなことはない、普及につながらない。

初夏の夜、連続してハーモニカのサウンドを耳にする機会に恵まれたので、感じた所を述べてみたい。

順不同になるが、和谷泰扶氏のリサイタルからふれてみよう。

会場はJR千駄ヶ谷駅の真ん前、交通の便もよく、約400席で音響効果の良いハーモニカコンサートに最適のホールだ。3年前私も「わが心のハーモニカ・リサイタル」を催した思いでのホールである。

観客は、残念ながら7分の入りで、空席が目立った。

然し、演奏は、すべるような音の運びと自然なフレージングで、少しも難曲を感じさせない見事なもので、非の打ちどころが無い。

それを裏付けるように8月2日読み売り新聞夕刊紙上に著名な音楽評論家である藤田由之氏の絶賛評が掲載された。(別掲載)

尚、付け加えるならば、氏のモーニングをきちっと着こなしたステージルックスは、さわやかで心地良かった。ややもすると、ラフなスタイルで演奏する傾向は好ましくない。

次に、ハーモニカ関係者側からの意見として述べさせてもらえるならば、曲目の中に、もう少し聞きなじみのある名曲をとり入れて、ハーモニカでやるとこんなにすばらしいのだというアピールも忘れてほしくないものだ。

何故ならば、ハード、ソフトの面で、ハーモニカはまだ発展途上の楽器だからである。

そして次の一点は、前にも述べたが、マイクを使わない演奏の問題である。

これには、マイクは演奏者の技量不足をカバーする目的で使うので、技量のあるものは使う必要が無い、という自負心と、芸術はすべて生が良いという錯覚がそうさせているのではないだろうか。

いや決してそうではない。現に批評家が絶賛してではないか、という反論もあると思うが、そうでは無く、あんなに細い音でさえこれ程の評価を受けるのだから、もしマイクを使って豊かな音を客席のすみずみまで届けたら、この評価が何倍も大きくなることが間違いないと確信するからである。

— — — — — 〇 — — — — — 〇 — — — — —

次に、明日に向かって響けⅡ—新鋭達のガラ・コンサートと銘打って

佐藤美枝子(ソプラノ) / 鈴木大介(ギター) / 竹村浄子(ピアノ) / 藤井香織(フルート) / 渡辺香津美(ギター・特出)の中に、小林史真さんのハーモニカが加わっての華やかなコンサートを聞いた。

ご存じのように史真さんは、世界ハーモニカ・コンテストのチャンピオンで、トミー・ライリー氏に師事、その長身で美しいスタイルはハーモニカ界のプリンセスと呼ぶにふさわし



い。

曲目は得意の「トレド」J.ムーディ作曲。手馴れた演奏は見事である。しかし何故か感動が伝わってこないのである。

直立不動で演奏する姿勢、殆どノンビブラートに近い味気ない音色、それに加えてノーマイクの音の貧弱さがここでもはっきり表れて、他楽器ソロに比べて落差が大きく、空々しい演奏になってしまった。

マイクを使っていたら、堂々互角に、いやそれ以上にハーモニカのアピールが出来たのと思うと残念でならない。

それと彼女だけが殆どノーマイクだったのも気になってしまった。

— — — — — 〇 — — — — — 〇 — — — — —

NHKラジオ深夜便は、いろいろの意味で面白かった。真夜中の時間帯なのに結構聞いている視聴者も多いらしく、趣向をこらした放送番組になっている。

7月23日は、6人のソロハーモニカのCDを紹介、2曲ずつではあったが、同じ時間帯に聞きくらべることが出来たのは収穫であった。

宇田川清枝アナウンサーの司会で

1) 崎元譲氏のクロマチック・ソロ。

ピアノ伴奏で「夏の思い出」と「海」の2曲。端正な演奏ながら、ハンドビブラートの「アワ・アワ」が目立ち過ぎた。

2) 佐藤秀廊先生の複音ハーモニカ・ソロ。

無伴奏で「浜辺の歌」と「汽車の旅」。80歳と思えない若々しいミスの無い演奏は驚異的である。ただ延ばす音に入るブリッチが多すぎるのが気になったが、これは従来の複音の編曲手法だからやむを得ないかも知れない。

3) 大石昌美氏の複音ハーモニカ・ソロ。

無伴奏で「月の砂漠」はそつのない演奏ながら、イントロの増二度のメロディーとノーフレージングは少々いただけない。「桜貝の歌」はオケ伴で、とたんに生き生きとした演奏となったが、2コーラス以降のメロディーラインにひと工夫ほしいところだ。

4) 薮谷幸男氏の複音ハーモニカ・ソロ。

オケバックで「帰れソレントへ」と「マリア・マリ」。ベテランらしい演奏だが、オケとの噛み合わせがしっくりしないのと、フレージングに問題があるようだ。

5) 森本恵夫の複音ハーモニカ・ソロ。

無伴奏ソロにこだわった、わが心のハーモニカ・シリーズの中からの2曲で「赤いサラファン」と「ブンガワン・ソロ」

自分自身の演奏を聞くというのは、何ともむずがゆいもの。これが胸を張れるような演奏だったら、鼻高々というところだろうが、今まで入れた曲はどれをとっても落第点ばかりなので、何でも少しましな曲を選曲してくれなかったのかと恨みたい気持ちだ。傷だらけの演奏とはこのことで、これでは一生かかってもプロにはなれないと痛感した次第である。

6) 最後は和谷泰扶氏のクロマチック・ソロ。

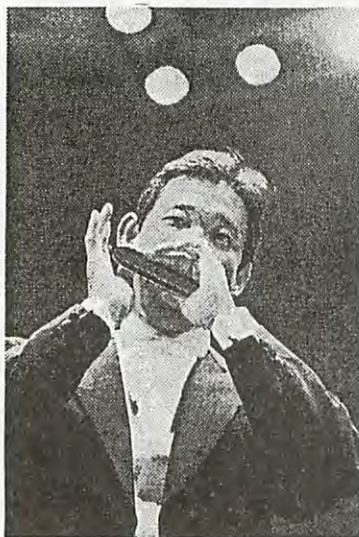
ピアノ伴奏で「この道」と「椰子の実」。一番安定した演奏ぶりではあるが、一面ただ素直に吹いているという感じで一向に面白味が感じられないのはどうしたことであろう。しょせんハーモニカ、いかに吹くかではなくて、いかに聞かせてゆくかが、魅力のポイントになるのではなからうか。

単複6人のベテランによる演奏を同時刻に並べて聞くことが出来て、長所短所を考えさせられたラジオ深夜便であった。

F I N E



## 幅広い音域、多彩な技巧



ハーモニカの可能性を再認識させた和谷泰扶(平井実撮影)

ハーモニカがクラシック音楽にしめる位置は、何人かの非凡な奏者が活躍し、著名な作曲家が彼らのための作品を生みだしている今日でも、ごくわずかにしかいえない。和谷泰扶は、そうした一般的な認識を一変させるような実力と意欲をそなえた演奏家のひとりだ。「東京の夏」音楽祭で聴いた今回のコンサートも、それを確信させるものだった。

### 和谷泰扶ハーモニカ演奏会

もうけている。一九八八年のオランダでの国際コンクール、翌年ドイツで開かれたワールド・ハーモニカ・チャンピオンシップスで優勝した彼は、国内外で活動する一方、母校で教鞭もついている。日本では、とくに九五年の「ハーモニカ伝来百年」を機に、一層注目をあつめた。彼が使う小さなクロマティク・ハーモニカ(半音階演奏が可能な楽器)のもつ表現力の大きさは、驚異的だといえる。

## 音楽

ピアノの野平一郎、ヴァイオリンの松原勝也、チェロの菊地知也らウエテランとのパツハの「トリオ・ソナタ」BWV1039や、続くシューマンの「三つのロマンス」では、彼はフルートやオーボエのパートをうけたが、とくに後者では、彼の音楽の豊かさが、楽器の通念をこえた格の高さをもたらしていた。

弦楽四重奏を伴うジェイコブの「ディヴェルティメント」とムーティの「五重奏曲」は、楽器のもつ機能や性格をいかした、楽しめるオリジナル作品だが、それ以上に名技性をも発揮したのは、ピアノとによるウィラ・ロボスの「ハーモニカ協奏曲」と、アンソールでの無伴奏のレクオーナの「マラゲーニャ」だった。呼吸と指の操作の微妙なタイミングも鮮やか。幅広い音域にわたる重音を含む多彩な技巧の展開は、この楽器がもつ可能性の大きさと、音楽に対する彼の熱意や誠実さを再確認させた。(7月19日・津田ホール)

藤田 由之(音楽評論家)

## 長岡鉄男の

# ダイナミックソフト

### CD

大吟醸の如く音楽と無伴奏ソナタ風の演奏  
驚くほどクールで透明な音、優秀録音盤だ  
ハーモニカによる吉田正名曲集



森本恵夫(ハーモニカ)  
ビクター VICP60705 ¥3,045

99年3月、ビクター・スタジオで収録。ハーモニカ演奏は森本恵夫。1923年生まれたから録音当時76歳だが、演奏は見事だ。ハーモニカのCDは以前、パッサカリアから現代曲までクラシックを集めたディスクを紹介したことがあるが、ハーモニカはやはり前歌が合うようだ。20トラック54分9秒。「音楽町で逢いましょう」、「町のサンドイッチマン」、「東京の人」、「異国の丘」、「傷だらけの人生」、「潮米笠」、「子連れ狼」、「いつでも夢を」など25曲、ナツメロ全集である。どこかで聴いたメロディばかりなので安心感がある。前歌というたまたま歌下の前歌が、フランク水戸、鶴田浩二、三浦洗一、長谷川裕見子、橋幸夫、といった人々のクセのある声と、クセのある歌い方が耳に残っている。ところがこのCDの前歌のイメージはまるで違う。編曲と演奏の妙で、前歌のエッセンスを抽出したような、大吟醸酒のような音楽に変身している。コブシやシンコペーション

で表情たっぷり歌う前歌と、クラシックのように端正に演奏する前歌との違いは大きく、別の曲のように聴こえる。無伴奏バイオリン・ソナタのような感じた。ベテランの演奏は文句なし、録音は驚くほどクールで透明。力があり、切れが良いが、耳に突き刺さるような音、ざらついた音は一切出ない。シャープだがスムーズである。ハーモニカのような音量の小さい楽器は、ホールよりスタジオ録音の方がいい。この録音はSN比の良いスタジオでハーモニカの音をリアルにキャッチ、ホールエコーもたっぷりとしているが、これは人工的に付加したものだ。サウンドとしてみると超リアルな優秀録音盤である。スペアナで見ると音域は250Hz以上、ウーファーがいらないくらいだ。





どうしてこんなに哀しく淋しいのだろう

どうしてこんなに哀しく淋しいのだろう。森本さん  
 そう思う。素敵にモダンでロマンチックな歌だった  
 や「誰よりも君を愛す」が、どうしようもなくや  
 こに収められた吉田さんの作品が、森本さんの  
 和子たちの声から離れ、メロディーそのものとな  
 るのか。ハーモニカという楽器は、そのような  
 から、一人一人の歌手の顔や、歌詞を思うより、  
 ひとつずつ、おたまじゃくしを書き込んで行く場面  
 しましょう。つまり、このアルバムに収められた音楽  
 のものより、はるかに吉田さんそのものに近いのだと  
 もしかすると吉田さんは、ご自身のなかに、淋しさ  
 それを、歌手の声というオブラートに包むことで和

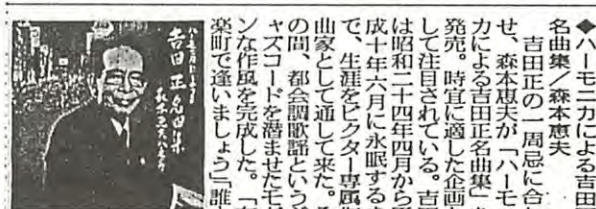
VICP-60705

有楽町で逢いましょう、異国の丘 **吉田 正 名曲集**  
 ハーモニカによる

① 有楽町で逢いましょう [Gm, F#m].....	(2:45)
② 街のサンドイッチマン [F#m, Em].....	(2:05)
③ 東京の人 [Am, Bbm(A#m)].....	(2:33)
④ 赤と黒のブルース [Gm, F#m].....	(2:42)
⑤ 異国の丘 [Fm, Em].....	(2:21)
⑥ 哀愁の街に霧が降る [Am, G#m].....	(2:34)
⑦ 弁天小僧 [Am].....	(1:54)
⑧ 泣かないで [Am, Gm].....	(2:44)
⑨ 楽しい朝 [Em, Am, E].....	(2:32)
⑩ 傷だらけの人生 [Bm].....	(2:46)
⑪ 再会 [Fm, Gm].....	(2:53)
⑫ 好きだった [Am, G#m].....	(2:54)
⑬ 東京午前三時 [Gm, G#m].....	(2:26)
⑭ 潮来笠 [G].....	(2:22)
⑮ 誰よりも君を愛す [Gm, F#m].....	(2:18)
⑯ 子連れ狼 [Em, Am].....	(3:27)
⑰ 東京ナイト・クラブ [Gm, F#m].....	(2:52)
⑱ 江梨子 [Gm, F#m].....	(3:01)
⑲ 美しい十代 [Am, Em].....	(2:28)
⑳ いつでも夢を [Bb(A), A].....	(3:14)

吉田 正 (作曲)  
 森本恵夫 (ハーモニカ、編曲)

\* [ ] 内はハーモニカのコードです。



◆ハーモニカによる吉田正  
 名曲集／森本恵夫  
 吉田正の一周忌に合わ  
 せ、森本恵夫が「ハーモニ  
 カによる吉田正名曲集」を  
 発売。時宜に合った企画と  
 して注目されている。吉田  
 は昭和二十四年四月から平  
 成十年六月に永眠するま  
 で、生涯をピクチャー専属作  
 曲家として通して来た。そ  
 の間、都会調歌謡というシ  
 ヤスコードを満ませたモダ  
 ンな作風を完成した。「有  
 楽町で逢いましょう」誰よ  
 りも君を愛すといつでも夢  
 をなせ(おびただ)し  
 いヒットを連発し、鶴田浩  
 二、フランク永井、松尾和  
 子、マヒナスターズなどの  
 スターを育成した戦後日本  
 を代表する作曲家である。  
 そのピクチャーから「わが心  
 のハーモニカ」のアルバム  
 六枚を既に発売している森  
 本が、吉田の代表的ヒット  
 曲二十篇をセレクト、今回  
 も無伴奏で、たった一本の  
 複音ハーモニカにこだわっ  
 た名曲を聞かせている。無  
 伴奏は伴奏付きよりもむし  
 ろ演奏が難しい面があり、  
 名曲揃いとはいえ、一人の  
 作曲家の作品を飽きさせな  
 いように聞かせるため、彼  
 が創意工夫を施して編曲、  
 伴奏している心遣いがよく  
 伝わって来る。心暖かい吉

田メロディの醍醐味が、ハ  
 ーモニカで満喫できるアル  
 バムだ。(ピクチャーエンタ  
 ーテイメント)CD/V  
 CPV60705/3三  
 ○四五 長田 暁ニ

吉田メロディーを奏でて

手のひらにのるような、銀色の愛らしいハ  
 かし、その守備範囲は、クラシックから  
 今まで、それ等の名曲と手をたずさえて来  
 たどり着いた。

そこには、今までにない新しいハーモニ

吉田先生と私は、戦争体験こそ違っても  
 きて来た。

次々と生まれる吉田メロディーは、今ま  
 アイディアにあふれ、私にとって青春そのも  
 二、松尾和子、フランク永井等の方々とは、こ  
 一層身近なメロディーとして、心の中に深く



### 天皇陛下の前で演奏

ハーモニカ指導の方は、御陰様で順調に進んでいます。来る13日天皇陛下の行幸があり、14日には高松学園の生徒のハーモニカ演奏を陛下にお聞かせすることになり、目下練習に大奮です。

いづれその結果を御知らせ致します。四国行幸でハーモニカ演奏はここだけです。張り切って立派な演奏をさせたいと思っています。尚同園児の演奏を過日高松宮殿下おいでの節、矢張り演奏して好評を得たそうです。

ハーモニカも一つ一つ刺激で発展して参ります。尚、会員増加に努力致します。末筆乍ら皆様に宜しく。

(池田輝樹氏からいただいた約50年前の1950/3/18(昭和25年)南部ハーモニカ楽友会本部発行の「ハーモニカの発展」第6号から転載。現在も活躍されている同会のある支部長の投稿文)

### 関西ハーモニカ聯盟會員大募集!!

皆様の御友達を御さそひ下さい!!

およそ、ハーモニカを愛好する人は、吹ける人でも吹けない人でも老人でも子供でもかまひません。本當にハーモニカを好まれる方は、どしどし御入會下さい。

私達の一人一人が聯盟に入って正しい研究をし、一人前の奏者になって、南方に北方に伸び行く日本の國土進軍する皇軍の後を受けて、ハーモニカを以て大東亞の平和建設に盡して下さい。

未開の土人達にも文明の住民にも、百萬言の言葉より1曲の音楽の方がどんなに分かりやすく直接に胸を打つか分かりません。

(池田輝樹氏ご提供の、昭和17年(54年前)の「ナンブ・ハーモニカ楽友会」の会報より転載。ただし「楽友会」を「関西ハーモニカ連盟」に置き換えました。かつて非常に活躍されたナンブ・ハーモニカ・アンサンブルについて興味のあるかたは、当時のメンバーで、現在も活躍されているただ一人のかた、池田輝樹氏に問い合わせられるといいと思います。資料も多くお持ちのようです。(当時の写真参照、南部氏、市川幸雄氏、池田氏)

340-0006埼玉県草加市八幡町524-5 池田輝樹 TEL 0489-35-2282 FAX 0489-35-5544)





## 発 刊 ご 挨拶

大東亜の盟主として内に外に益々輝かしき大発展をなしつつある祖國を、私達は深い感激をもって今更の如くに目を見張るのであります。

そして炎熱の南国に又夏尚寒き北太平洋に敢然と矛をとり、楯をとる皇軍將士の御苦勞に只々頭の下がる思ひであります。一七年七月、支那事變滿五周年の記念すべき時に創刊號を發刊致しますことは私共にとって忘れ得られぬ善き思ひ出になると思ひます。幾月も前より「ハーモニカの發展」は何時出るのか？と各方面よりご期待あふれた御問合をいただき私共編輯に當たる者は大いに發奮させられました。何分にも全然始めての經驗にて皆様のご期待に添へるかどうか分かりませんが、第一號よりは二號を、二號より三號目をと、一步一步向上に努力して立派な私達の「ハーモニカの發展」に育て上げて行きたいと存じて居ります。(以下略) (ナンプ・ハーモニカ樂友会の編輯後記より)

發刊おめでとうございます。平成11年の関西ハーモニカ連盟編集局長より

### ハーモニカラスカルズ来日！

全米の人気者・愉快な仲間がやってきた！ハーモニカ・ラスカルズ公演  
(昭和36年=1961=38年前) 11月11日 東京産経ホール、A席650円

11月19日 京都クラブ・ベラミ

共演 渡辺弘とスターダスターズ、島田マリ、有村リエ、司会 E.H.エリック  
演奏曲目は、Peg O' My Heart, Beer Barrel Polka, Sabre Dance, Fascination 等

紹介記事を野口久光、宮田東峰、ペギー葉山が書いている。

このラスカルズは、ポール・バロンという人が結成したもので、その中の小さい人は、ここではボビー・ディムラーとなっている。「ボラ・ミネピッチのハーモニカラスカルズ」の中にいた小さい人で我々によく知られている人ジョニー・ブレオは、もうこの中にはいない。彼はすでに自分のグループ「ジョニー・ブレオとハーモニカギャング」として活躍していたころではないかと思われる。他のメンバーの名前は記載されていない。もしこの来日メンバーの名前が分かれば、いろいろ興味が増すと思われるが、どなたかご存じのかたは教えてください。レオ・ダイヤモンドとカリチャード・ヘイマンとかの名前が出て来るか？

あの有名な「ボラ・ミネピッチとハーモニカラスカルズ」は、ボラ・ミネピッチが1955年に死亡してからは分解したらしく、「ラスカルズ」という名称は、その後このプロデューサーのポール・バロンが買い取った。

このプログラムの広告には、次のものがある。

トンボ楽器の「欧米スタイルの演奏がたのしめる、唯一のハーモニカ、トンボ、スーパー・クロマチック、単音12穴1500円」

日興証券の「マネービルクラブ、20代は2000円、30代は3000円、40代は4000円、そして50



代は10000円・・・(多分月額)」

「胃に効く=科研のビタスU、20錠200円、60錠500円」

「お一人でも乗れる、甲州の奇勝・昇仙峡へ(注、東京から)片道500円、京王帝都バス」

また、このプログラムから、京都市の電話番号の局番(現在3桁)が1桁のものとは2桁のものがあったことが分かる。

(池田輝樹氏ご提供のプログラムによる。99/4月号会報の「レターボックス」に永久欣示氏が書いておられるように、このころはラリー・アドラー(30年来日)やジョン・セバスチャン(36年来日)等、外国から多くのハーモニカ演奏家に来ていたようです。)

## ナンパもハーモニカで

「若い時分ハーモニカにこってしまっただね。うまくなると、人に聞かせたくて、カスリの着物を着て街をブカブカ吹いて歩きましたわ。きれいなお嬢さんのいるところでは、不思議にハーモニカを吹いている奴に出会いましたね。そこでお互いに名乗り合って御前演奏をしますのや。やっぱり技術が違うと相手は自分を尊敬してくれますわい。

そりゃ家の界限では僕が一番上手やったな。まあそんなわけで僕もバイオリンをやるようになったんや」

(バイオリンの辻久子さんの実父であり、よき先生であった辻吉之助さんの話、上述のハーモニカ・ラスカルズプログラムの中で岡野弁というかたが語っている。)

## 見つけました

### 「ハーモニカ特賣」

NHK教育テレビ、6/12「日本映像の20世紀」の連続番組のうちの「大阪府(2)なにわ庶民泣き笑い」の中で、写真のような景色が出てきました。昭和6年(1931)の水都祭りの道頓堀川の飾り舟からの景色で、この堀に面した建物からの垂れ看板です。



## クロマチック・ハーモニカに 網戸用押さえゴムを

吉村 則次

クロマチック・ハーモニカのバンパー(虫ゴム)用に、「網戸用押さえゴム」がいいことがわかりました。一番細いもので直径3.5mm、700cmで178円、バンパー交換1回あたりなんと0.25円。スーパー64のマウスピースの穴の直径は3.5mmですからほぼぴったりですが、#270はそれよりやや細いので、ガスコンロの上で引っ張りながら少し細く(3mmぐらい)する必要があります。

(商品名 網戸用押さえゴム、ダイオ化成株式会社製、荒物屋にあります。)



## ボンキエリかボンキエルリか？ 作曲家の氏名、生年月日等々

白鳥達夫／吉村則次

カタカナでの作曲家の名前の表示は、①その国での発音が一番近いものを当てるもの（例、ドボルザーク=Dvorak、クーブラン=Couperin、ショパン=Chopin）が一番多く、次に②英語表示の発音に近いものにカタカナに当てたもの、③どちらでもないものがなにかの間違ひのまま通ってしまっているもの等、いろいろあると思われ、どれが正しいと断言してしまうことはできないものと思います。

しかし、われわれが連盟の行事でプログラムを作成するときは、やはりなにかの基準に基づいて掲載しないと、統一がとれないものになります（間違ひがあったり、プログラムの上で同じ作曲家が英文名とカタカナで別々に記載されてあったり）。

ハーモニカ祭りの実行委員会でも、読み方が分からずに迷った結果、確認できないので仕方なく提出したものを尊重してそのまま掲載したり、究極は読み方が分からないので、司会者に読ませるのをやめておこう、というような、作曲家に対して失礼なことが行われていたりします（曲名と作曲者名はプログラムに載っていても、最低司会者は正確に紹介すべきと思っております。同じ曲名でも異なる作曲家が作曲していたり、ファーストネームが異なる同じ名前の作曲家があったりすることがあります）。

そこで、別紙のとおり、海外の作曲家を挙げてみました。作曲家はそれこそ無数にありどの作曲家を挙げどれをカットするかは、大いに異論のあるところでしょうが、著名なかたではなくてもハーモニカで演奏される曲の作曲家及び我々二人に親しみのある人（CDで聞いた、本で読んだ、ハーモニカで取り上げた、自分の好み）を取り上げた、偏ったものになっていると思います。（紙面の関係で、日本の作曲家、ポピュラー・ミュージックの作曲家と考えられるかたは除外しました。現実には、外国のも当然ですが、日本の作曲家の読み方がわからないのが多く、正しい読み方を書いた資料が欲しいと思います。）

一応、久遠出版の「世界の作曲家」（柴田一史著）、G. SCHIRMER 1947年出版の Pronouncing POCKET-MANUAL of MUSICAL TERMS、Milton Cross' Encyclopedia of The Great Composers and their Music (Doubleday1962年発行)を参考にしております。

しかし、ここに載せたものが最終的に正しいという考えはなく、他の表示があってもそういう表示もあるのだと考え、目くじらを立てるようなことはないと思います。

なお、生年月日、没年、典型的な曲も、その曲の時代背景を知り、演奏するとき思いをはせる上で重要でありますので挙げました。今年は誰々の生誕100年だ、没後100年だというようなことも分かり、それを記念して選曲することもできます。更に、没年から誕生年を引いたものを没年齢として上げました。この人は長生きしたとか、若くして亡くなったのにあれだけ多くの曲を残しているとか、なにか思いをはせることができるのではないかと思います。

注、コンピュータやワープロで上げられない文字（たとえばロシアの文字）、上や下に符号がついたもの（ドイツのウムラウト、スペイン語のñ など）は省略し、英語表示にしております。作表したコンピュータのプログラムにより、延ばす音（ー）は、並べ替えの時一番前に来ております。ご了承ください。アルファベット表示の順序は、まず姓を上げ、その後名を上げております。



世界の作曲家一覽 カタカナ表示の五十音順

作曲家	アルファベット	生年	生月日	没年	歳	作曲した曲の典型的なもの
アルビノーニ	Albinoni Tomaso	1671	6/14	1751	80	弦楽とオルガンのアダージョ
アルベニス	Albeniz Isaac	1860	5/29	1909	49	イベリア組曲
イッポリトフ イワノフ	Ippolitov-Ivanov Michail Michailovitch	1859	11/19	1935	76	コーカサスの風景
イラディエル	Yradier Sebastian	1809	1/20	1865	56	ハバネラ、ラ・パロマ
ヴィヴァルディ	Vivaldi Antonio	1678	3/4	1741	63	四季
ヴィラローボス	Villa-Lobos Heitor	1881	3/5	1959	78	ブラジル風バツハ組曲
ウェーバー	Weber Carl Maria von	1786	11/18	1826	40	舞踏への招待
ヴェルディ	Verdi Giuseppe	1813	10/10	1901	88	椿姫
ヴォーンウィリアムス	Vaughan Williams Ralph	1872	10/12	1958	86	グリーンズリープス
ウォルトン	Walton William	1902	3/29	1983	81	Façade組曲
ヴォルフ	Wolf Hugo	1860	3/13	1903	43	(ロマン派リート)
ヴォルフフェラーリ	Wolf-Ferrari Ermanno	1876	1/12	1948	72	マドンナの宝石
エネスコ	Enesco Georges	1881	8/19	1955	74	ルーマニア狂詩曲
エルガー	Elgar Edward	1857	6/2	1934	77	威風堂々
オフエンバック	Offenbach Jacques	1819	6/20	1880	61	天国と地獄
オネゲル	Honegger Arthur	1892	3/10	1955	63	火刑台のジャンヌダルク
オベール	Auber Daniel-Francois-Esprit	1782	1/29	1871	89	ペリの女王
オルフ	Orff Carl	1895	7/10	1982	87	カルミナブラーナ
ガーシュイン	Gershwin George	1898	9/26	1937	39	ラブソフィインブルー
カバレフスキー	Kabalevsky Dimitri	1904	12/30	1987	83	コラブルニオン
キューイ	Cui Cesar Antonovitch	1835	1/18	1918	83	オリエンタル
クーブラン	Couperin Francois	1668	11/10	1733	65	クラブサン曲等多数
クーラウ	Kuhlau Friedrich	1786	9/11	1832	46	魔法の堅琴
グノー	Gounod Charles	1818	6/17	1893	75	ファウスト
クライスラー	Kreisler Fritz	1875	2/2	1962	87	愛の哀しみ
グラズノフ	Glazounov Alexander Konstantinovitch	1865	8/10	1936	71	レイモンダ
グラナドス	Granados Enrique	1867	7/27	1916	49	スペイン舞曲
グリーク	Grieg Edward Hagerup	1843	6/15	1907	64	ペールギュント
グリンカ	Glinka Mikhail Ivanovitch	1804	6/1	1857	53	ルスランとリュドミラ
グルック	Gluck Christoph Willibald von	1714	7/2	1787	73	精霊の踊り
グレインジャー	Grainger Percy	1882	7/8	1961	79	ジャングルブック
グローフェ	Grofe Ferde	1892	3/27	1972	80	大峡谷
ケテルビー	Ketelbey Albert	1875	8/9	1959	84	ベルシャの市場にて
ケルビーニ	Cherubini Luigi	1760	9/14	1842	82	(教会音楽)
コープランド	Copland Aaron	1900	11/14	1990	90	アパラチアの春
コダーイ	Kodaly Zoltan	1882	12/16	1967	85	ハーリヤーノシュ
コレリ	Corelli Arcangelo	1653	2/17	1713	60	(ヴァイオリン曲多数)
サティ	Satie Erik	1866	5/17	1925	59	ジムノディ
サラサーテ	Sarasate Pablo de	1844	3/10	1908	64	ツィゴイネルワイゼン
サンサーンス	Saint-Saens Camille	1835	10/9	1921	86	動物の謝肉祭
シェーンベルク	Schoenberg Arnold	1874	9/13	1951	77	ペアレスとメリザンデ
シベリウス	Sibelius Jean	1865	12/8	1957	92	トゥネラの白鳥
シャブリエ	Chabrier Emmanuel	1841	1/18	1894	53	スペイン狂詩曲
シューベルト	Schubert Franz	1797	1/31	1828	31	未完成交響曲
シューマン	Schumann Robert	1810	6/8	1856	46	トロイメライ
シュトラウス J父	Strauss Johann Sr	1804	3/14	1849	45	ラデツキー行進曲
シュトラウス Jワルツ	Strauss Johann Jr	1825	10/25	1899	74	美しく碧きドナウ
シュトラウス R	Strauss Richard	1864	6/11	1949	85	交響曲ドンファン
ショーン	Chausson Ernest	1855	1/21	1899	44	詩曲
ショスタコヴィッチ	Shostakovitch Dimitry	1906	9/25	1975	69	オラトリオ森の歌
ショパン	Chopin Frederic	1810	3/1	1849	39	ショパンのワルツ
スーザ	Sousa John Philip	1854	11/6	1932	78	ワシントンポスト
スカルラッチェ	Scarlatti Domenico	1685	10/26	1757	72	教会音楽
スクリアピン	Scriabin Alexander Nikolaievitch	1872	1/6	1915	43	法悦の詩
スッペ	Suppe Franz von	1819	4/18	1895	76	軽騎兵
ストラヴィンスキー	Stravinsky Igor	1882	6/17	1971	89	ペトルーシュカ
スメタナ	Smetana Bedrich	1824	3/2	1884	60	売られた花嫁
ターレガ	Tarrega Francisco	1852	11/21	1909	57	アルハンブラの思い出
タイケ	Teike Carl	1864	2/5	1922	58	旧友
チマローザ	Cimarosa Domenico	1749	12/17	1801	52	ロンドンのイアリア女
チャイコフスキー	Tchaikovsky Peter Ilyich	1840	5/7	1893	53	白鳥の湖
デュカス	Dukas Paul	1865	10/1	1935	70	魔法使いの弟子
テレマン	Telemann Georg Philipp	1681	3/14	1767	86	ターフェルムジーク
ドヴォルザーク	Dvorak Antonin	1841	9/8	1904	63	新世界交響曲
トスティ	Tosti Francesco Paolo	1846	4/9	1916	70	歌曲多数
ドニゼッティ	Donizetti Gaetano	1797	11/29	1848	51	愛の妙薬



作曲者と生年月日

ドビュッシー	Debussy Claude	1862	8/22	1918	56	牧神の午后への前奏曲
ドリーブ	Delibes Leo	1836	2/21	1891	55	コッペリア
ドリゴ	Drigo Riccardo	1846	6/30	1930	84	セレナーデ
パーセル	Purcell Henry	1659		1695	36	ダイドーとエアネス
バード	Byrd William	1543		1623	80	マドリガル
バーバー	Barber Samuel	1910	3/9	1981	71	Adagio for Strings
バーンスタイン L	Bernstein Leonard	1918	8/25	1990	72	ウエストサイド物語
ハイドゥン	Haydn Franz Joseph	1732	3/31	1809	77	驚愕、軍隊
パガニーニ	Paganini Nicolo	1782	10/27	1840	58	24のカプリッチョ
ハチャトゥリアン	Khatchaturian Aram	1903	6/6	1978	75	ガヤーネ組曲
バッハ CPE	Bach Karl Philipp Emanuel	1714	3/8	1788	74	宗教曲多数
バッハ JS	Bach Johann Sebastian	1685	3/21	1750	65	宗教曲多数
パデレフスキー	Paderewski Ignace Jan	1860	11/18	1941	81	メヌエット
バルトーク	Bartok Bela	1881	3/25	1945	64	ミクロコスモス
ビゼー	Bizet Georges	1838	10/25	1875	37	カルメン、アルルの女
ヒンデミット	Hindemith Paul	1895	11/16	1963	68	画家マチス
ファリア	de Falla Manuel	1876	11/23	1946	70	恋は魔術師
プーランク	Poulenc Francis	1899	1/7	1963	64	ニグロ狂詩曲
フォーレ	Faure Gabriel-Urbain	1845	5/12	1924	79	レクイエム
プッチーニ	Puccini Giacomo	1858	12/22	1924	66	トスカ、ボエーム
ブラームス	Brahms Johannes	1833	5/7	1897	64	ハンガリー舞曲
フランク	Franck Cesar	1822	12/10	1890	68	近代フランス音楽の父
ブリテン	Britten Benjamin	1913	11/22	1976	63	ピータークライムズ
ブルックナー	Bruckner Anton	1824	9/4	1896	72	交響曲
ブルッフ	Bruch Max	1838	1/6	1920	82	コールニドライ
プロコフィエフ	Prokofiev Sergei Sergeievitch	1891	4/23	1953	62	ピーターと狼
ブロッホ	Bloch Ernest	1880	7/24	1959	79	
フロウ	Flotow Friedrich von	1812	4/26	1883	71	マルタ
ベートーヴェン	Beethoven Ludwig van	1770	12/16	1827	57	交響曲多数
ベリニー	Bellini Vincenzo	1801	11/3	1835	34	ノルマ
ベルゴレージ	Pergolesi Giovanni Battista	1710	1/4	1736	26	La Serva Padrona 悲しみの聖母
ベルリオーズ	Berlioz Hector	1803	12/11	1869	66	ローマの謝肉祭
ヘンデル	Handel George Frideric	1685	2/23	1759	74	メサイア
ボッケリーニ	Boccherini Luigi	1743	2/19	1805	62	メヌエット
ホルスト	Holst Gustav	1874	9/21	1934	60	惑星
ボロディン	Borodin Alexander Porfirievitch	1833	11/12	1887	54	中央アジアの草原にて
ボンキエルリ	Ponchielli Amilcare	1834	8/31	1886	52	ジヨコンダ
マーラー	Mahler Gustav	1860	7/7	1911	51	大地の歌
マクダウエル	MacDowell Edward Alexander	1861	12/18	1908	47	のぼらに寄せて
マスカーニ	Mascani Pietro	1863	12/7	1945	82	カバレリア・ルスチカーナ
マスネー	Massenet Jules	1842	5/12	1912	70	タイースの瞑想曲
ミヨー	Milhaud Darius	1892	9/4	1974	82	プロバンス組曲
ムソルグスキー	Mussorgsky Modest Petrovitch	1839	3/21	1881	42	展覧会の絵
メシアン	Messiaen Olivier	1908	12/10	1999	91	
メンデルスゾーン	Mendelssohn Felix	1809	2/3	1847	38	真夏の夜の夢
モーツァルト	Mozart Wolfgang Amadeus	1756	1/27	1791	35	魔笛
モンティ	Monti Vittorio	1868	1/6	1922	54	チャルダッシュ
モンテベルディ	Monteverdi Claudio	1567	5/15	1643	76	オルフェオ
モンポー	Mompou Federico	1893	4/16	1987	94	子供の情景
ヤナーチェク	Janacek Leos	1854	7/3	1928	74	イエヌーフ
ラヴェル	Ravel Maurice	1875	3/7	1937	62	ボレロ
ラフマニノフ	Rachmaninoff Sergei Vassilievitch	1873	4/1	1943	70	ピアノ協奏曲
ラモー	Rameau Jean-Philippe	1683	9/24	1764	81	タンブラン
ラロ	Lalo Edouard	1823	1/27	1892	69	スペイン交響曲
リスト	Liszt Franz	1811	10/22	1886	75	ハンガリー狂詩曲
リムスキーコルサコフ	Rimsky-Korsakov Nicolai Andreyevitch	1844	3/18	1908	64	シエラザード
ルーセル	Roussel Albert	1869	4/5	1937	68	バックスとアリアドネ
レオンキャバロ	Leoncavallo Ruggiero	1858	3/8	1919	61	パリアッチ
レクオーナ	Lecuona Ernesto	1896	8/7	1963	67	マラゲーニャ、アンダルシア組曲
レスピーギ	Respighi Ottorino	1879	7/9	1936	57	ローマの松
レハール	Lehar Franz	1870	4/30	1948	78	メリーウイドウ
ロータ	Rota Nino	1911	12/3	1979	68	甘い生活、太陽がいっぱい
ロッシーニ	Rossini Gioacchino	1792	2/28	1868	76	セビリアの理髪師
ロドリゴ	Rodrigo Joaquin	1902	7/6	1999	97	アランフェス協奏曲
ワーグナー	Wagner Richard	1813	5/22	1883	70	タンホイザー等
ワルトトイフェル	Waldteufel Emil	1837	12/9	1915	78	スケーターワルツ



誕生月日順

誕生年月日順

生月日 生年 作曲家

1/4	1710	ベルゴレージ
1/6	1838	ブルッフ
1/6	1868	モンティ
1/6	1872	スクリアピン
1/7	1899	プーランク
1/12	1876	ヴォルフフェラーリ
1/18	1835	キュイ
1/18	1841	シャブリエ
1/20	1809	イラディエル
1/21	1855	ショーソン
1/27	1756	モーツァルト
1/27	1823	ラロ
1/29	1782	オベール
1/31	1797	シューベルト
2/2	1875	クライスラー
2/3	1809	メンデルスゾーン
2/5	1864	タイケ
2/17	1653	コレルリ
2/19	1743	ポツケリーニ
2/21	1836	ドリーブ
2/23	1685	ヘンデル
2/28	1792	ロッシーニ
3/1	1810	ショパン
3/2	1824	スメタナ
3/4	1678	ヴィヴァルディ
3/5	1881	ヴィラローボス
3/7	1875	ラヴェル
3/8	1714	バッハ CPE
3/8	1858	レオンキヤバロ
3/9	1910	バーバー
3/10	1844	サラサーテ
3/10	1892	オネゲル
3/13	1860	ヴォルフ
3/14	1681	テレマン
3/14	1804	シュトラウス J父
3/18	1844	リムスキーコルサコフ
3/21	1685	バッハ JS
3/21	1839	ムソルグスキー
3/25	1881	バルトーク
3/27	1892	グローフェ
3/29	1902	ウォルトン
3/31	1732	ハイドン
4/1	1873	ラフマニノフ
4/5	1869	ルーセル
4/9	1846	トスティ
4/16	1893	モンポー
4/18	1819	スッペ
4/23	1891	プロコフィエフ
4/26	1812	フロトウ
4/30	1870	レハール
5/7	1833	ブラームス
5/7	1840	チャイコフスキー
5/12	1842	マスネー
5/12	1845	フォーレ
5/15	1567	モンテベルディ
5/17	1866	サティ
5/22	1813	ワーグナー
5/29	1860	アルベニス
6/1	1804	グリムカ
6/2	1857	エルガー
6/6	1903	ハチャトリアン
6/8	1810	シューマン
6/11	1864	シュトラウス R
6/14	1671	アルビノーニ
6/15	1843	グリーク
6/17	1818	グノー

6/17	1882	ストラヴィンスキー
6/20	1819	オッフエンバック
6/30	1846	ドリゴ
7/2	1714	グルック
7/3	1854	ヤナーチェク
7/6	1902	ロドリゴ
7/7	1860	マーラー
7/8	1882	グレインジャー
7/9	1879	レスピーギ
7/10	1895	オルフ
7/24	1880	プロッフ
7/27	1867	グラナドス
8/7	1896	レクオーナ
8/9	1875	ケテルビー
8/10	1865	グラズノフ
8/19	1881	エネスコ
8/22	1862	ドビュッシー
8/25	1918	バーンスタイン L
8/31	1834	ボンキェルリ
9/4	1824	ブルックナー
9/4	1892	ミヨー
9/8	1841	ドヴォルザーク
9/11	1786	クーラウ
9/13	1874	シェーンベルク
9/14	1760	ケルビーニ
9/21	1874	ホルスト
9/24	1683	ラモー
9/25	1906	ショスタコヴィッチ
9/26	1898	ガーシュイン
10/1	1865	デュカス
10/9	1835	サンサーンス
10/10	1813	ヴェルディ
10/12	1872	ヴォーンウイリアムス
10/22	1811	リスト
10/25	1825	シュトラウス Jワルツ王
10/25	1838	ビゼー
10/26	1685	スカルラツティ
10/27	1782	パガニーニ
11/3	1801	ベリニー
11/6	1854	スーザ
11/10	1668	クーブラン
11/12	1833	ポロディン
11/14	1900	コーブランド
11/16	1895	ヒンデミット
11/18	1786	ウェーバー
11/18	1860	パデレフスキー
11/19	1859	イツボリフ イワノフ
11/21	1852	ターレガ
11/22	1913	ブリテン
11/23	1876	ファリア
11/29	1797	ドニゼッティ
12/3	1911	ロータ
12/7	1863	マスカーニ
12/8	1865	シベリウス
12/9	1837	ワルトイフェル
12/10	1822	フランク
12/10	1908	メシアン
12/11	1803	ベルリオーズ
12/16	1770	ベートーヴェン
12/16	1882	コダーイ
12/17	1749	チャマローザ
12/18	1861	マクダウエル
12/22	1858	プッチーニ
12/30	1904	カバレフスキー
1543		バード
1659		パーセル

生誕250年

生年 生月日 作曲家

1543		バード
1567	5/15	モンテベルディ
1653	2/17	コレルリ
1659		パーセル
1668	11/10	クーブラン
1671	6/14	アルビノーニ
1678	3/4	ヴィヴァルディ
1681	3/14	テレマン
1683	9/24	ラモー
1685	2/23	ヘンデル
1685	3/21	バッハ JS
1685	10/26	スカルラツティ
1710	1/4	ベルゴレージ
1714	3/8	バッハ CPE
1714	7/2	グルック
1732	3/31	ハイドン
1743	2/19	ポツケリーニ
1749	12/17	チャマローザ
1756	1/27	モーツァルト
1760	9/14	ケルビーニ
1770	12/16	ベートーヴェン
1782	1/29	オベール
1782	10/27	パガニーニ
1786	9/11	クーラウ
1786	11/18	ウェーバー
1792	2/28	ロッシーニ
1797	1/31	シューベルト
1797	11/29	ドニゼッティ
1801	11/3	ベリニー
1803	12/11	ベルリオーズ
1804	3/14	シュトラウス J父
1804	6/1	グリムカ
1809	1/20	イラディエル
1809	2/3	メンデルスゾーン
1810	3/1	ショパン
1810	6/8	シューマン
1811	10/22	リスト
1812	4/26	フロトウ
1813	5/22	ワーグナー
1813	10/10	ヴェルディ
1818	6/17	グノー
1819	4/18	スッペ
1819	6/20	オッフエンバック
1822	12/10	フランク
1823	1/27	ラロ
1824	3/2	スメタナ
1824	9/4	ブルックナー
1825	10/25	シュトラウス Jワルツ王
1833	5/7	ブラームス
1833	11/12	ポロディン
1834	8/31	ボンキェルリ
1835	1/18	キュイ
1835	10/9	サンサーンス
1836	2/21	ドリーブ
1837	12/9	ワルトイフェル
1838	1/6	ブルッフ
1838	10/25	ビゼー
1839	3/21	ムソルグスキー
1840	5/7	チャイコフスキー
1841	1/18	シャブリエ
1841	9/8	ドヴォルザーク
1842	5/12	マスネー
1843	6/15	グリーク
1844	3/10	サラサーテ
1844	3/18	リムスキーコルサコフ
1845	5/12	フォーレ



没年 順

没年	作曲家	没年	作曲家
1846	4/9 トスティ	1823	バード
1846	6/30 ドリゴ	1843	モンテベルディ
1852	11/21 ターレガ	1895	パーセル
1854	7/3 ヤナーチェク	1713	コレルリ
1854	11/6 スーザ	1733	クーブラン
1855	1/21 ショーン	1736	ベルゴレージ
1857	6/2 エルガー	1741	ヴィヴァルディ
1858	3/8 レオンキャパロ	1750	バッハ JS
1858	12/22 ブッチーニ	1751	アルビノーニ
1859	11/19 イッポリトフ イワノフ	1757	スカルラッチ
1860	3/13 ヴォルフ	1759	ヘンデル
1860	5/29 アルベニス	1764	ラモー
1860	7/7 マーラー	1767	テレマン
1860	11/18 バレフスキ	1787	グルック
1861	12/18 マクダウエル	1788	バッハ CPE
1862	8/22 ドビュッシー	1791	モーツァルト
1863	12/7 マスカーニ	1801	チマローザ
1864	2/5 タイケ	1805	ポツケリーニ
1864	6/11 シュトラウス R	1809	ハイドン
1865	8/10 グラズノフ	1826	ウェーバー
1865	10/1 デュカス	1827	ベートーヴェン
1865	12/8 シベリウス	1828	シューベルト
1866	5/17 サティ	1832	クーラウ
1867	7/27 グラナドス	1835	ペリーニ
1868	1/6 モンティ	1840	バガニーニ
1869	4/5 ルーセル	1842	ケルビーニ
1870	4/30 レハール	1847	メンデルスゾーン
1872	1/6 スクリャピン	1848	ドニゼッティ
1872	10/12 ヴォーンウイリアムス	1849	シュトラウス J父
1873	4/1 ラフマニノフ	1849	ショパン
1874	9/13 シェーンベルク	1856	シューマン
1874	9/21 ホルスト	1857	グリムカ
1875	2/2 クライスラー	1865	イラディエル
1875	3/7 ラヴェル	1868	ロッシーニ
1875	8/9 ケテルビー	1869	ベルリオーズ
1876	1/12 ヴォルフフェラーリ	1871	オペール
1876	11/23 ファリア	1875	ビゼー
1879	7/9 レスピーギ	1880	オッフエンバック
1880	7/24 プロツホ	1881	ムソルグスキー
1881	3/5 ヴィラローボス	1883	プロトウ
1881	3/25 バルトーク	1883	ワーグナー
1881	8/19 エネスコ	1884	スメタナ
1882	6/17 ストラヴィンスキー	1886	ボンキェルリ
1882	7/8 グレインジャー	1886	リスト
1882	12/16 コダーイ	1887	ボロディン
1891	4/23 プロコフィエフ	1890	フランク
1892	3/10 オネゲル	1891	ドリーブ
1892	3/27 グローフェ	1892	ラロ
1892	9/4 ミヨー	1893	グノー
1893	4/16 モンポー	1893	チャイコフスキー
1895	7/10 オルフ	1894	シャブリエ
1895	11/16 ヒンデミット	1895	スツベ
1896	8/7 レクオーナ	1896	ブルックナー
1898	9/26 ガーシュイン	1897	ブラームス
1899	1/7 プーランク	1899	シュトラウス Jワルツ王
1900	11/14 コーブランド	1899	ショーン
1902	3/29 ウォルトン	1901	ヴェルディ
1902	7/6 ロドリゴ	1903	ヴォルフ
1903	6/6 ハチャトリアン	1904	ドヴォルザーク
1904	12/30 カバレフスキー	1907	グリーク
1906	9/25 ショスタコヴィッチ	1908	サラサーテ
1908	12/10 メシアン	1908	マクダウエル
1910	3/9 パーバー	1908	リムスキーコルサコフ
1911	12/3 ロータ	1909	アルベニス
1913	11/22 プリテン	1909	ターレガ
1918	8/25 バーンスタイン L	1911	マーラー
		1912	マスナー
		1915	スクリアピン
		1915	ワルトトイフェル
		1916	グラナドス
		1916	トスティ
		1918	キューイ
		1918	ドビュッシー
		1919	レオンキャパロ
		1920	ブルッフ
		1921	サンサーンス
		1922	タイケ
		1922	モンティ
		1924	フォーレ
		1924	ブッチーニ
		1925	サティ
		1928	ヤナーチェク
		1930	ドリゴ
		1932	スーザ
		1934	エルガー
		1934	ホルスト
		1935	イッポリトフ イワノフ
		1935	デュカス
		1936	グラズノフ
		1936	レスピーギ
		1937	ガーシュイン
		1937	ラヴェル
		1937	ルーセル
		1941	バレフスキ
		1943	ラフマニノフ
		1945	バルトーク
		1945	マスカーニ
		1946	ファリア
		1948	ヴォルフフェラーリ
		1948	レハール
		1949	シュトラウス R
		1951	シェーンベルク
		1953	プロコフィエフ
		1955	エネスコ
		1955	オネゲル
		1957	シベリウス
		1958	ヴォーンウイリアムス
		1959	ヴィラローボス
		1959	ケテルビー
		1959	プロツホ
		1961	グレインジャー
		1962	クライスラー
		1963	ヒンデミット
		1963	プーランク
		1963	レクオーナ
		1967	コダーイ
		1971	ストラヴィンスキー
		1972	グローフェ
		1974	ミヨー
		1975	ショスタコヴィッチ
		1976	プリテン
		1978	ハチャトリアン
		1979	ロータ
		1981	パーバー
		1982	オルフ
		1983	ウォルトン
		1987	カバレフスキー
		1987	モンポー
		1990	コーブランド
		1990	バーンスタイン L
		1992	メシアン
		1999	ロドリゴ

生誕100年

没後150年

没後50年

没後100年



## アルコールにフィルムケース

吉村 則次

ハーモニカをいつもきれいにしておくため、アルコール（消毒用エタノール）を湿したコットンを持ち歩いておられるかたがおられます。結構なことと思います。

これの持ち運びのための入れ物として、次のようなものがあると思いますが、最近私はフィルムケースが、密閉度、大きさとも一番いいと思っています。

フィルムケース 35mmフィルムが入っていたケース、マガジンともいいます。  
自分で写真を撮らないかた、カメラ屋でただでくれます。  
透明のものがいい。

タッパーウェア

古い弁当箱のおかず入れ

食べ物保存用ビニール袋、押さえるとびっちり閉まるようになっているもの

これは、ビニールの切れ目に穴があいていることがあるから、あんまり信用できません。  
医者が使っている金属のケース、注射前の消毒用アルコールを入れてあるもの。



## 複音ハーモニカは水で洗ってもいい

ハーモニカ振興会の「風のうた」より

編集局

静岡県浜松市は、ご存じのとおり、日本の楽器の町。音楽総合メーカーのヤマハがあり、ハーモニカのスズキがあるところです。

スズキは、ハーモニカ普及発展のため、ハーモニカ振興会という団体を組織され、全国ベースで指導も行い、演奏会も開催されておられます。浜松市では1200名をも集めるハーモニカコンサートを開かれておられます。

情報満載の「風のうた」という会報を作って配布されておられます。

当編集局には、毎回その会報が送られて来ておりますが、今回その6/7合併号が送られてきました。各地の活動が満載です。

その中で複音ハーモニカのメンテナンスのいい記事がありましたので、同会のお許しを得て、そのままの形で転載させていただきます。

同会の入会申し込み、問い合わせ等は、次のところ、または、各地のハーモニカ振興会の地区本部、鈴木音楽産業、鈴木楽器販売の支店等です。

静岡県浜松市領家2-25-11 ハーモニカ振興会 053-466-0100



いつも快適にお楽しみいただくための

# かんたん お手入れQ&A

ハーモニカは簡単な構造の楽器です。正しいお手入れで、いつまでも快適にお使いいただけます。簡単なお手入れを試してみましよう。

## Q

最近、いつも使っているハーモニカが汚れてきました。自分で簡単にできる手入れ方法があったら教えてくださいませんか。

## A

本体がプラスチックのハーモニカのお手入れは簡単です。ハーモニカを使った後吹き口を下に向けて、手にのせたハンカチの上へ軽く叩くようにして、水分（唾液）を抜いていつもきれいに保管すれば衛生的にも良いでしょう。日頃のお手入れを怠ると、音が狂ったり、音が出ないといった故障の原因になってしまいます。このような場合には、ハーモニカを分解し、中のゴミや汚れをきれいに取り除かなければなりません。分解、掃除は、正しい順序と、工具が必要です。まず、分解に必要な工具を用意しましょう。工具は、マイナスとプラスの精密ドライバと掃枝などの小さな木のヘラ。揃えるのが面倒な人には専用の修理キットも販売されています。

必要工具

が揃ったら修理を始めましょう。

まず始めにドライバでハーモニカのカバー

のネジを外しカバーを取ります。

次にリードプレート部を固定しているネジをドライバで外します。



修理工具セット ¥3,500  
ヤスリ1、ドライバ→両用、キシヤゲ1、リード用ヘラ1、専用ケース

外したネジは、小さくないように一箇所にまとめて置いておくようにします。



分解が終わったら、リードプレート部の付着した汚れをヘラでそぎ落とします。



この時、リードにはくれないようにしてください。

次にプラスチック本体

を軽く歯ブラシを使って水洗いし、小さなゴミ等を洗い流し、柔らかい布で軽く水分を拭き取ります。汚れが取れたら、次は組み立てです。組み立ては分解とは逆の順序で行ないます。

本体の両面にリード部を取り付けしっかりネジ止めします。



次に、リードプレート上部にある溝にカバーをはめ込み、ネジでし

っかり固定して完了です。

汚れがひどく音程の狂いなどが生じた場合には、お近くの販売店か次の住所までご郵送いただければ、郵送費別途・修理費千円程度で調整をして送り返してくれます。

あまり汚れが進んでいない時の水洗いは、写真のように吹き口を下にして、ハーモニカの背側から水を流し、吹き口をブラ



シてこするようになると、小さな汚れは落ちてしまいます。この時向きを間違

えると、汚れが中に入り鳴らなくなります。汚れが落ちたら、柔らかい乾いた布を手に持ち、吹き口を下にして、軽く叩き、中の水分を除去します。

次回は、もう少し高度な修理にトライしてみましよう。

修理の依頼は：

〒400-0001N浜松市領家2-25-12  
株式会社鈴木楽器製作所 行



## 新 しい ハーモニカ C D

吉村 則次

◎松本 敏明 ソングス INTRO JSI-2 2000円

東京都新宿区高田馬場2-14-8 ジャズ喫茶イントロ(03-3200-4396)発行

世の中には、いいハーモニカ奏者の演奏なのに、自主製作のため流通ルートに乗らず、したがって、あまり知られてないCDがあるものです。この松本敏明は、95年の横浜での世界大会のジャズ部門優勝のかたです。CDを出したということは噂に聞いておりましたが、私も手に入れておらず、最近東京の友人からもらいました。なかなかいい音を出しています。こういうものを紹介するのも、ハーモニカ機関誌の役割ではないかと思えます。他のハーモニカ機関誌にも載ったことがありません。興味のあるかたは直接上の発行所へ

◎徳永 延生 恋人よ/Lover 3000円

プロのジャズハーモニカ奏者徳永延生氏の、5月発売の2枚目のCDである。自作の曲2曲を含めベサメ・ムーチョ、枯葉、モナリザ等全部で11曲。「恋人よ」(五輪真弓が歌っていたあの歌で徳永延生氏のおはこ)とピアソラの「リベルタンゴ」(このCDではリベル・ボッサ)がいいと、私は思う。前号に同封のチラシご参照。購入希望のかたは、本人(電話及びFAX06 6934-7266)または吉村則次(電話及びFAX 0722 51-9398)へ

◎台北黄石口琴楽団 口琴之愛②

11月に来日予定の楽団の演奏である。当連盟特別顧問の齋藤壽孝が編曲や演奏の監督をしている。なかなかレベルの高い演奏をしている。希望のかたは、齋藤壽孝氏へご注文ください。2000円、送料別

◎Corky Siegel コーキー・シーゲル/Complementary Colors, USA Gadfly Records-507

この人はブルースハープの演奏者である。私はクロマチック愛好者であるので、市中に非常に多く出ているブルースハープの録音物は通常は買わないが、この人は、ハード・リービーらとともに別格である。出たら必ず買う。過去に小澤征爾指揮のサンフランシスコ交響楽団と共演したような人であるからである。このCDは、彼のこの種の2枚目のCDであるが、第1作と同じく弦楽四重奏とタブラ(ある種の民族打楽器)をバックに演奏している。この音楽はブルースだろうか、いやブルース+クラシックと言えるかも知れない。ほとんど自作。しかし、そういうことはどうでもいい。ともかく聞いていて気持ちいい。アメリカの業者から購入(3000円で取り寄せ可能)。この人の、小澤指揮サンフランシスコ交響楽団との共演のCDについては、会報99/4月号p43「新しいCD」参照。大手の店で探せば、まだ手に入るかも知れません。

### もののけ姫が教科書に

編 集 局

朝日新聞6/25朝刊より

音楽では、宮崎駿さんが監督したアニメ映画「もののけ姫」のテーマ曲が小学校5年生の教科書2冊に、また、テレビドラマの挿入曲にも使われた「ひだまりの詩(うた)」(ル・クプル唄)が高校生の教科書2冊に掲載された。

(編集局注)上の2曲のカラオケは、多く出ておりますから、試されてはいかがですか。(吉村則次注)「もののけ姫」は、関西ハーモニカ祭りほか、あちこちでたびたび演奏させていただいており、今後も続けられますので、特にうれしく思います。



## 「真似ること（模倣）から創造性が広がる」

前号7月号p26の姉川敏彦氏の記事に関して

徳永 至

（福岡教育大学名誉教授）

模倣には二つあります。

（1）機械的模倣

（2）洞察的模倣

（1）は所謂、猿まねで、唯、言われた通りに無批判に模倣することで、幼児に多い。芸能やスポーツ・言葉の学習でも、初歩には之から入る。

そして徐々に上達していくと、何故だろうか？こうした方がよいと思うが？と疑問が湧いてくる。教授者は、練習の初期に理由、故事来歴を平易に説明して納得させる方がよい。

（2）は、成程そんな理由か、とよく納得、理解して模倣することで学習の進歩も早い。

自ずから改良を加えて新しい方法を発見したり、師を追い越したりする。「学習は模倣からスタートする」と言うが、そこに停滞してはいけない。日本の芸事の中には古色蒼然たる黴（かび）のはえたものを権威づけて改良を許さぬものがある。之では発展はない。「批判精神を忘れた伝統ほど仕末の悪いものはない」（桑原武夫）と申します。停滞は腐敗をうみます。自己否定こそ進歩の基です（弁証法）

ハーモニカは、その点進歩的です。

（創造については、体系的理論をもっていますが長くなるので省略します。）



### クロマチック・ハーモニカのメンテナンスと修理の講習会開催

吉村 則次

クロマチック・ハーモニカの修理に対する要望が非常に大きいと思います。昨年は当連盟主催により3回（うち2回がクロマチック、1回が複音）行いましたが、今年度は下記のとおり、モリダイラ楽器大阪支店主催により、クロマチック・ハーモニカのメンテナンスと修理に関する講習会が開催されます。

会報に同封の同社チラシをご覧になり、希望者は直接主催者へお申し込みください。

日時 99/10/31 日曜日 1:00pm~5:00pm

前半は通常の手入れ方法、後半は修理になる予定です。

場所 モリダイラ楽器大阪支店

大阪市北区中津2-5-9 06-6374-0476 最寄り駅 地下鉄/阪急 中津

主催 モリダイラ楽器大阪支店 06-6374-0476

申し込み締め切り 10月15日 金曜日

講師 吉村 則次

受講料、場所の詳細、申込方法等は、チラシをご覧ください。

説明及び修理の材料として、調子の悪いクロマチック・ハーモニカ、壊れたハーモニカ、それに自分の修理道具等をお持ちになればいいと思います



## コンサート・コンサート・コンサート 吉村 則次

ほのぼのとしたあらいなおこ・ハーモニカ・ライブ

5/22 大阪スター・ダイナー(写真参照)

ご自分の作曲、ご自分のヴォーカル、ご自分のピアノ演奏も含めた、バライティに富んだ、退屈しない1時間半のライブであった。ハーモニカの人は、ほとんど来ていなかったようだが、地下のライブハウスは満員で、立ち見の人も座席と同じくらい多かった。120名くらいかと思われる。

彼女は、いいメンバー(ピアノ/アコーディオン、ベース/ギター、ドラムス/パーカッションの3人)に恵まれていると思う。

曲としては、特にレクォーナの「マラゲーニア」と「ピアソラ(題名は聞きそびれました)」が良かったように思う。

いつもながら、自然な京都弁を使って、ほのぼのとした雰囲気を作り出していた。

### 和谷泰扶 リサイタル

6/20 日 2:00pm びわ湖ホール

琵琶湖畔に最近出来た大中小の3つのホールから成るすばらしい県立ホールで、その340席?の小ホールがほぼ一杯であった。司会なし、しゃべりなしで、演奏ばかりで中身の濃いコンサートであった。共演はピアノとチェロ。

7/3 土 2:00pm びっくり!!スーパーコンサートII 高槻現代劇場中ホール

ハーモニカに対してギター(福田進一)等が伴奏するというものではなく、ギター、バイオリン(松原勝也)、ハーモニカの3つが対等に扱われていて嬉しかった。

(びわ湖ホールでのものと異なり)ピアノが入っていなかったのも、音の大きさが平等で、聞きやすかった。バイオリンがあんなにいい音をしているものかと驚いた。これは演奏者の技量と会場のアコースティックのおかげと思う。

和谷泰扶氏が福田進一のCDに参加しているのを当日売られていたCDで初めて知った(優しき玩具~吉松隆ギター作品集、DENON COCO-80633 和谷泰扶氏はこの中で6曲を演奏している)。すぐ購入した。

題名が「びっくり!!スーパー」であったが、私にとっては、別にしゃっくりがとまるようなびっくりはなく、美しく、楽しいコンサートであった。しかし、今回の来日の一連のコンサート(東京、沖縄も含め)は、毎回共演者を変えており、バックが変わるということは曲目も変えているということであり、ダブるものがないということで、それらを和谷泰扶氏は完全に消化していること、それが「びっくり・スーパー」であった。

### 木谷悦子 ジャズ・ポピュラーの世界 ゲスト 徳永延生

6/25 金 18:30 大東市立総合文化センター(サーティホール)。

人口13万人の大阪府の小都市(同市教育委員会主催)がこのようなコンサートを開いてくれたこと感謝。180席ほぼ満員だった。開催に至った経緯を主催者に聞いてみると、同教育委員会のコンサート実行委員会の若い委員の一人の発案によるとのこと。公共団体が主催すると、市の広報誌に載せられ広く宣伝されるので、ハーモニカの普及拡大に大きな力となる。木谷悦子氏は各地で公共団体主催のコンサートを行っている。それらは我々の耳に入っていないものも多い。



### 懐かしい? ハーモニカ

と私。

「ハーモニカを吹けませうか?」と聞くと、「懐かしいな。吹けるかもしれない」という人と、「お父さんが吹いていたのを聞いたことはあるけど」という人。あなたはどちらですか。私も子供のころ、持っていた記憶があります。

私が、今、東名高速の浜名湖SA(サービスエリア)で売られていて、「台湾料理の小皿盛り」

を食べるひまがなかったのかは焼きのことを書いた、あのSAです。あの時は仕事だったので、プロのドライバーのKさんと一緒に撮影を終えて車に戻った。Kさんがハーモニカを持ってきます。「このショップで買いました。子供の時に吹いたけなのに、意外にうまく吹けるんですよ」

## グルメ旅

### 出会い旅

「ア、浜松はハーモニカの産地ですね。それ、いくらだったの?」

「それが、千円と二万円のと、二つ買っちゃいました。吹けないと思っただんが、うまくいったので二万円のを」

Kさんは流行の「だんご3兄弟」を孫に聞かせたくて、次の休憩の時も車に残って練習していたようです。

仕事を終えての帰り、私はハーモニカを買いたくて、しかもウナギの取材に追われて、新名物の「台湾料理の小皿盛り」

## 有線放送で徳永延生氏がハーモニカレッスン マルチ440チャンネルのJ-9

### 編集局

9月から、有線放送の大手である「Usen440」(大阪有線放送社)のJ-9(楽器練習専用チャンネル)で、クロマチック・ハーモニカのレッスン番組が始まっております。

9/5(日)開始で毎週日曜日と月曜日、初心者に参加してもらっての30分間のレッスンが一日中繰り返し流されています。

内容は毎週変わり、順次高度なものに変わって行きます。

北海道から沖縄まで、全国で聞けますから、有線放送の契約をしているかたはぜひお聞きください。

なお、徳永延生氏の演奏は、A-11チャンネル(USEN Hitsインストゥルメンタル)でよく聞かれます。ダイエーの店内なんかによく流れているのがこのA-11チャンネルです。

## 神社にハーモニカの音色

聴衆80人 飛び入り参加の一幕も

大和郡山



飛び入り参加もあり、盛り上がったハーモニカコンサート—大和郡山市の薬園八幡神社

さまざまな種類のハーモニカを紹介し、「ハーモニカは腹式呼吸で演奏するから体にいい。ぼけの防止にもなります」とユーモアを交えて説明。市内のママさんコーラス「片桐コーラス」との共演や、ハーモニカを持参した観客が飛び入り参加する一幕もあり、会場は盛り上がりだった。

城下町の神社でハーモニカの音色を奏しもうと、大和郡山市材木町の薬園八幡神社参集場で6日「ハーモニカコンサート」の心詩)が開かれた。約180人の聴衆が、懐かしいハーモニカの調べに聴き入っていた。

「わが町を再発見しよう」と活動している市民グループ「大和郡山まちづくり会議」(砂川正興代表)が主催。地域で活動する音楽家に発表の場を設けて、地域住民に生の音楽にふれてもらおうと開催した。

サンケイ新聞99.6.7



■クロマチックハーモニカの世界  
3日 18時、南海泉佐野、泉の森ホール。  
ハーモニカ:木谷悦子、ピアノ:多田恵美子、ベース:村松泰治。茶菓付き  
1500円。☎0724-69-7100

朝日新聞99/7/1夕刊



# 会員異動のお知らせ

1999/8/10

会報第140号でのお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。

組織部長

## 新入会

5名

	〒	住所	電話番号	
1	早川 直也	547-0021 大阪市平野区喜連東 4-3-6-505	090-0286-5722	('99/6)
2	平井 元生	534-0002 大阪市都島区大東町 2-13-16	06-6928-4501	('99/6)
3	高阪 他美子	651-1123 神戸市北区ひよどり台 5-6-34-501	078-743-0865	('99/6)
4	鈴木 洗次郎	663-8234 西宮市津門住江町 8-16-401	0798-37-2382	('99/7)
5	平野 和久	563-0042 池田市宇保町 15-13	0727-51-2394	('99/7)

## 退会

0名

## 住所変更

新住所

1	藤田 章一	811-1344 福岡市南区三宅 3-23-1 ワールドマンション西大橋 1-502	092-551-1373	('99/6)
---	-------	--	--------------	---------

## 訂正

郵便番号

1	西原 正男	664-0025	7月号の公開名簿には 694-0025と記載しましたが誤りでしたので、ここにお詫びして訂正します。
---	-------	----------	---

現在の会員数は 220名です。

### ▶ 生涯趣味

## 中年にハーモニカが静かなブーム 手ごろな価格と手軽さ魅力、不景気のビジネスマンが飛びつく

40代以上の世代でハーモニカの静かなブームが起こっている。

火付け役となったのは、今年69歳になるハーモニカ奏者、大石昌美氏だ。1996年にキングレコードから「赤とんぼ」や「早春賦」などを録音した6枚組CD集を出したところ、同社で歴代4位の販売組数を売り上げた。

これをきっかけに、大石氏は3年間で合計40枚のCDを発売するという売れっ子となった。彼のCD購買者やコンサートの聴衆は中年の世代が圧倒的に多い。



火付け役となった大石氏

ハーモニカの販売台数も伸びている。最大手のトンボ楽器製作所（東京・荒川区）では「ここ2、3年は10%ずつ売り上げが伸びている」という。特にもの悲しげな独特の音が特徴の複音ハーモニカが伸びている。

なぜ、いまハーモニカなのか。リストラで悲しみの海に沈んだ中年の哀歌かという、そうでもない。

毎月1回、東京・練馬の大石氏の自宅に、銀行の役員や大手印刷会社の管理職など7、8人が集まり、大石氏の指導を受

けている。受講の目的は「定年後はボランティアで吹きたい」という人や、奥さんが「いまのうちに主人に習わせておきたいので」と連れてくるなどさまざまだ。

キングレコードの企画部門で大石氏を担当する斉藤立穂氏はこう見る。「40代、50代のビジネスマンがリストラで、ひまな時間を持つようになったのは確か。でもそれだけではない。最近仕事一辺倒ではダメで、趣味を持っている人が尊敬される風潮がある。そこで、子供のころに吹いた経験があったり、耳になじんだハーモニカに挑戦する人が増えているようだ」。

ハーモニカは安い機種なら3500円ほどで買うことができる。不景気で財布のひもが固くなっているビジネスマンには、それも魅力だ。

(伊藤 暢人)

(写真下: 村田 和聡)

NIKKEI BUSINESS 99/5/10号 (安田哲夫提供)



## 役に立った野ばら社の「日本のうた」 推薦図書

吉村 則次

野ばら社というところは、音楽専門の出版社ではないが、非常に多くの唱歌集、合奏曲集等の本を出している。

ここから出ている「日本のうた」は、明治・大正時代から最近までのはやり歌を、だいたい20年毎に分けて編集しているものである。

すべて、楽譜（五線譜、原調）、歌詞、コード名、その上に、はやった年と唄った歌手名も入っており、その曲がはやった年順に掲載されている。

今回、私が買ったのは、昭和21～40年の第3集と、昭和40～53年の第4集である。

たとえば、第3集は、昭和21年の「リンゴの唄」で始まり、その作詞はサトウハチロー、作曲は万城目正、唄ったのは、霧島昇と並木路子であることがわかる。また少しの説明がついている。その集の終わりは、昭和40年の「女ひとり」であり、永六輔作詞、いずみたく作曲、唄はデュークエイセスである。

第4集は、「赤いグラス」（昭和40年、門井八郎作詞、牧野昭一作曲、アイ・ジョージ／志摩ちなみ唄）から「かもめが翔んだ日」（昭和53年、伊藤アキラ作詞、渡辺真知子作曲、渡辺真知子唄）までである。

この2冊により、私は今回の「南大阪ハーモニカ祭り」および連盟「ハーモニカ祭り」の演奏曲目のうちの日本の歌謡曲で、作曲者名が抜けているもの、間違っているものの大部分の修正ができた。もっと古い戦前のものについては、本屋で立ち読みして調べた。また、今後自分の教室で取り上げる曲のヒントが多く得られた。

各集には、300曲前後（1年平均15曲）が収録されており、各1700円（1曲あたり約6円）、第1集明治・大正、第2集昭和初年～20年もあり、昭和53年以降の分も発行されている。

なお、同社からは数字譜を入れている日本の曲集も発行されており、複音奏者には福音である。

### ハーモニカにみるブームの起こり方

4月19日号のトレンド「中高年にハーモニカが静かなブーム」を読んだ。私自身も昨年ハーモニカ教室に通っていたが、中高年だけでなく若い女性の間でも流行していた。ただ、中高年が愛用している「複音ハーモニカ」と異なり、若者に受けているのはサイズが小さく穴が10個の「ブルース・ハーブ」と呼ばれるハーモニカだ。手軽に練習できるほか、「小さくて、おしゃれ」というのが人気の要因らしい。

年齢や性別を超えて、ほぼ同時期にまったく違った視点から人気を呼び、それがブームになるという点が興味深い。今後の消費動向を予測する上でも、参考になるのではないだろうか。

熊谷宏治（東京都、会社員、33歳）

野田知佑著

「ハーモニカとカヌー」

小学館1400円

吉村 則次

という本があります。題名には「ハーモニカ」という文字がは5文字も占めておりますが、中にはハーモニカのことはほとんど書かれておりません。したがって、これを読んでハーモニカの知識が増えるとか、演奏がうまくなるというものではありません。しかし、いい本でした。

「川は守らなければならない」という気持ちにさせる本です。

「ハーモニカを吹くと数千匹の蚊が飛んでくる」という写真があります。来年の夏試してみよう。





H		R		O		I		A
	A		M		N		C	

関西ハーモニカ連盟